

しながわ区民公園の春の花

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年04月20日

季節の移り変わりは早いもので、しながわ区民公園でも次々と春の花が咲き始めました。

満開のさくらが終わった4月13日の花々です。



「シャクナゲ」（上）：花の色は白、赤、黄色と様々ですが、いずれも大きな花が特徴です。



「シャガ」（上左）：木陰などやや湿ったところに咲きます。白っぽい花ですが、花びらに濃い紫と黄色の模様があるので分かり易い花です。

「ヤマブキ」（上中）：「ヤマブキ色」色鉛筆や絵の具の色として、鮮やかな黄色は親しみのある色ですね。

「ユキヤナギ」（上右）：公園や庭先でよく見かけますが、小さな白い花が枝いっぱい咲き、散った後も地面に雪が積もったように見えます。

しながわ区民公園では、いずれの花もこれから5月にかけて咲き誇ります。

平成24年4月13日

丸山 均（記者NO. 090105）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年04月20日

大崎駅西口のノースポールが満開です

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年04月27日

大崎町づくり協議会（地元企業50～60社）のご協力により、緑と花のボランティア活動が始まって7年になります。大崎高校、大崎中バレー部、芳水小、地元児童サッカー部とともに有志が協力して、大崎駅西口周辺、目黒川沿い御成橋と公園周辺に年に2回植栽をしています。

10月に植えたノースポールが満開になりました！ 6月頃まで花を咲かせ、道行く人々の目を楽しませてくれることでしょう。次回の植栽は6月で、マリーゴールドを植えます。

（写真は左から 10月、1月、4月の生育の様子です）



平成24年4月25日

塚純江（記者NO.100101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年04月27日

春が来たよ

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年05月01日

このところ雨天が多かったのですが、4月24日（火）久しぶりの春の気配で気温も上昇し、陽光の中で路地裏の花たちが、「春が来たよ」と咲き誇っていました。チューリップ、フリージア（黄色とピンク）、サクラソウ（小さいピンク）、花ニラ（白）などが、季節の到来を知らせてくれます。人間も上着を脱ぎ捨てて、日差しを浴びましょう。



平成24年4月24日

中西義治(記者NO.060108)

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年05月01日

エネルギーダイエット（第1回） さあ、我が家も節電チャレンジ！

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年05月30日

新米環境記者の林です。これからどうぞよろしくお願いします。

この夏、特に関西では電気が足りなくなるかも、と連日ニュースで報じられています。

2010年の夏。残暑も長くて、連日熱帯夜が続いた強く記憶に残る酷暑の年でした。

今年の夏がどうなるかわかりませんが、それと同じくらい暑さになるならば、全ての原発が停まった状況が続けば、確かに「停電が起きる？」と不安にもなります。

東京電力では、昨年みんなで頑張った節電努力の分を織り込んで、2010年のような暑さになったとしても、電力制限令を出さなくてもぎりぎり供給は大丈夫と試算しているようです。しかし、私たちの気が緩んで節電を怠ったりするとやっぱり危険水域です。

これまでずっと節電の努力をきちんとやっていた方、昨年の大震災以降に危機感に目覚めて節電を始めた方、様々だと思います。正直なところ、私はどちらかというと後者のクチです。ですから、偉そうに節電云々とモノを申せるような者ではありません。とはいえ、3年前の2009年6月に太陽光発電パネルを我が家の屋根に取り付け、その効果をずっとモニターしてきた経験が、昨年からの節電でも役立ちました。それによって、支払い料金が減って随分お得になりました。

これから数回シリーズで、家庭で出来る節電について、そんな私の体験を共有していければと思います。前置きが長くなりましたが、初回の本題のお話を始めましょう。

節電はダイエットと同じですね。ダイエットするときの必需品は、なんといっても体重計。鏡を見て、太った痩せたと感じるだけでは駄目で、今の自分の体重は何キロなのかを正しく認識することがスタートです。

では、節電において「体重計」に相当するのは何でしょうか？

これです。「電気ご使用量のお知らせ」。



毎月、ポストに入ってくるこの小さな紙きれ一枚に、結構重要な情報が満載なのです。

我が家のサンプル画像を載せましたが、赤い点線の囲みの「ご使用量」と「請求予定額」が体重〇〇kgとか、BMI〇〇とかに相当するものです。

これを保管してありますか？ 我が家では、電気、ガス、水道とも過去3年分を取っておいて、エクセルシートに記録してきました。（かくいう私も、それ以前はポイ

ポイ捨ててましたけれど。)

下の表は、我が家の事例です。

電気使用量 (kWh)						電気代支払い金額 (円)							
	2009	2010	2011	2012	対前年との比較		2009	2010	2011	2012	対前年との比較		
1月	477	483	275	247	-28	-10.2%	1月	12,242	10,296	5,899	5,571	-328	-5.6%
2月	465	392	245	198	-47	-19.2%	2月	11,935	8,540	5,269	4,518	-753	-14.3%
3月	369	318	198	176	-22	-11.1%	3月	9,484	7,006	4,309	4,276	-33	-0.8%
4月	410	295	128	139	11	8.6%	4月	10,326	6,442	3,186	3,604	418	13.1%
5月	355	222	179				5月	8,207	4,756	3,804			
6月	162	209	156				6月	3,421	4,374	3,505			
7月	297	316	278				7月	5,583	6,394	5,875			
8月	462	443	262				8月	9,198	9,307	5,632			
9月	318	346	258				9月	6,448	6,985	5,848			
10月	201	216	149				10月	4,419	4,603	3,742			
11月	291	231	193				11月	6,368	4,923	4,718			
12月	341	198	192				12月	7,475	4,449	4,542			
年間合計	4,148	3,669	2,513	760	-66	-3.4%	年間合計	95,106	78,076	56,329	17,967	-696	-1.2%
平均	346	306	209	190	-22	-8.0%	平均	7,926	6,506	4,694	4,492	-174	-1.9%

うちは夫婦と大学生の次男の3人暮らしでしたが、昨年5月から同居人数が増えたため、最新の4月の使用量が前年より増えています。また、さきほど触れたように、東京電力から買った電気量は、昨年2011年の合計は、2010年と比較すると、1,156キロワット、2万1,747円分も節約できたことが分かります。このように現状や過去からの変化を詳しく知ることができます。

まずはともあれ、記録をとること。できれば過去からずっと推移を見ていくことが望ましいです。

さて、「電気ご使用量のお知らせ」の紙を捨ててしまって手元にはない、という方。次に来る分からは捨てないように取っておきましょう。これさえあれば、もっと過去にさかのぼって我が家の使用量データを取得できる可能性が大きい。

東京電力のホームページに、「でんき家計簿」というサービスがあります。「電気ご使用量のお知らせ」に記載されている「お客様番号」を使って会員登録（無料）すると、最大過去18ヶ月分のデータやグラフが表示されるサービスです。

電気の使用量は季節性の変動があるものですから、最低限、昨年の同月は何のくらい使っていたか知る必要があります。これは「電気ご使用量のお知らせ」にも書いてありますので、大いに参考になります。まず、第一ステップとして、こうした「我が家の情報」を集めて整理しましょう。

今回は、「電気ご使用量のお知らせ」の情報の読み方、記録・集計方法などのお話をさせていただきます。

注記：

冒頭の「電力不足」懸念のお話は、とくに酷暑の晴天時に、冷房による電力需要が高まるお昼の2時前後のピークにおける問題です。この最高需要時間帯の節電協力（いわゆるピークカット）と、常日頃から無駄な電気を使わないという一般的な節電は問題の次元が異なります。もちろん、後者の一般的な節電は、ピークカットにも有効です。しかし、十分電力供給が足りている夜間で、しかも異常な熱帯夜であっても冷房を我慢し健康を害するというのは、おかしな節電行動だと思います。私は、健康第一で、それぞれの家庭の事情に応じた合理的な無駄の排除を目指す節電、賢いお金の節約方法を考えていきたいと思っています。

【お知らせ】 「しながわネガワット発電所」プロジェクト（試運転企画）のお誘い

この企画は、いわゆる「節電クラブ」のようなものです。

“ネガワット”とは、「電力消費を減らすことで、同量を発電したものと同等効果を生み出す」ということを意味する最近注目されているキーワードです。別にお金をかけて電気を作る発電所を建てるわけではありません。仮想の草の根発電所といったところでしょうか。

昨年の「しながわ節電コンテスト」では、7～9月の3ヶ月間の募集期間で合計1,536世帯が応募、その結果、前年と比べて258,187kWh（キロワットアワー）の節電を記録したそうです。例えば、この258,187kWhがネガワット発電所の発電量になります。こんな感じのネガワット発電所の共同チームをつくろうというのが企画の趣旨になります。

実験的に2012年6月～9月の3ヶ月間「運転」します。参加は無料。集計のために、品川区民か否か程度の情報を教えていただき、この3ヶ月の間の節電状況を自己申告いただき、10月末までに集計します。ご興味ある方には詳しい資料を電子メー

ルでお送りします。お問い合わせは、shayashi@ba2.so-net.ne.jp（環境記者 林）
まで。

なお、本企画は品川区環境課のアドバイスを受けて、区民環境記者である林個人が
運営します。

平成24年5月24日

林 彰一（記者NO.120101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年05月30日

エネルギーダイエット（第2回）「電気ご使用量のお知らせ」の情報の読み方、記録方法など

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月04日

前回は、節電対策のスタートとして、まず電気使用量のデータを集めましようとして書かせていただきました。今回はそれが終わったという前提で、お話を進めます。

「電気ご使用量のお知らせ」（以下、「お知らせ」と呼びます）という小さな紙切れには節電していくうえで、重要な情報が満載です。今月の節電努力の結果がどうであったかは、翌月の「お知らせ」が通信簿の役目を果たしてくれます。

引用：東京電力ホームページ「電気ご使用量のお知らせ」の読み方より
この紙片からどのようなことが読み取れるのか、おおざっぱに整理すると、

- A. 計算月と期間、日数（上図の3の上の項目）
- B. 使用量（上図の3）
- C. 請求料金と内訳（上図の5）
- D. 前年同月の使用量との比較（上図の7）

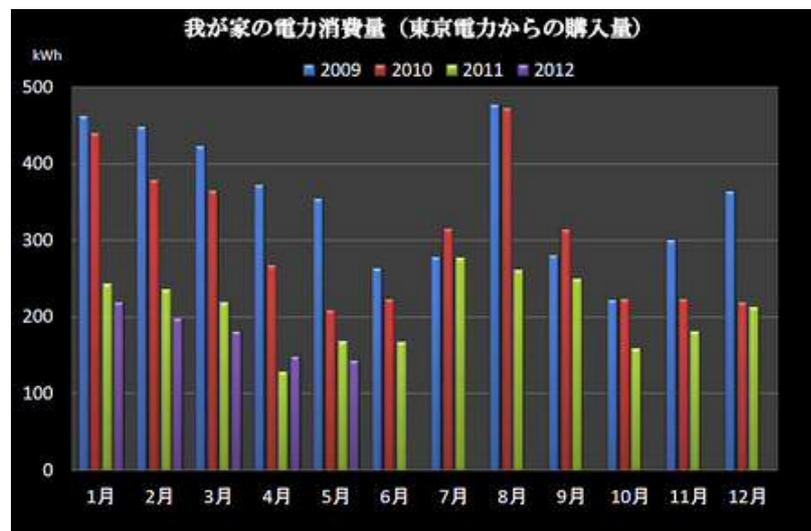
の4つが最重要情報です。

そして、まさに上記のDが節電の通信簿の評点に相当します。上図の7には、「昨年4月分は33日間で300kWhです。今月分は昨年と比べ3%減少しています。」と書かれています。ここから、「ああ、昨年より3%節電できた」と読み取ることができません。

しかし、Aの情報をよくよく見ると、今年の4月分の使用量290kWhの計算期間は31日間とありますね。東京電力に確認しましたら、検針員さんの実際の検針訪問日により、こうした期間、日数の違いが発生するとのこと。さて、この2日間の違いは結構大きなものですから、本当は今年と昨年、それぞれ割り算して、「1日あたりの使用量」で比較することが、厳密に言えば、正しい評価方法になります。そうすると、この例では逆に、昨年より3%使用量が増えた計算になります。まあ、猛暑だったり、冷夏だったり年ごとに気象条件も違いますし、計算期間に含まれる曜日が昨年と違うなどで電力消費量が左右されることもありますので、そこまで厳密な管理ではなくともという方は、ご自分のお考えどおりでよいかと思えます。

これ以外にも、家族構成（世帯人数）が前年同月とは違っているとか、転居などで生活スタイルが変わり前年データがない、比較できないなどの事情がおありの方もいらっしゃるでしょう。このあたりは、ご自分なりに補正して評価することになります。

さて、「お知らせ」読み方のポイントが分かったところで、次に「記録」のお話に移ります。「お知らせ」や前回ご紹介した「でんき家計簿」から情報を取得したら、記録してグラフ化するなど“見える化”してみると、節電状況も把握しやすくなり、やる気も向上してきます。下のグラフは、前述の補正を行った我が家の電力消費（東京電力）のグラフです。



私は、表計算ソフト（エクセル）を使って情報管理し、グラフ化していますが、同様の機能をもった以下のようなインターネットの無料サービスで、お手軽な管理ツールもあります。

A) 「**でんき家計簿**」（東京電力）

すでに前回ご紹介したサービスです。グラフが自動的に表示されますが、18ヶ月間のデータしか保持されませんので、毎月古いものから消えていきます。単純な各月の使用量が表示され、計算日数の情報もなく、前述の補正はされていません。

B) **みんなのエコファミリー**／環境家計簿（環境省）

コンテンツが多彩で、電気以外の情報も管理でき、楽しみながら環境意識が向上しそうです。

C) **インターネット環境家計簿**（品川区環境課／工学院大学）

品川区もこんな本格的なサービスを提供していたのですね。家族人数による平均的な使用量との比較診断もしてくれます。環境家計簿の機能に絞られており、おすすめです。

過去の情報をまとめて入力するときだけ、ちょっと面倒ですが、その後は毎月グラフを更新するのが楽しみに変わっていきます。こんなところもダイエットと似ていますね。

今回は、「節電プランづくり」についてご紹介します。

以上

この記事の情報は、2012年6月1日現在の各出典元の情報や報道によっています。また、企画の性格上、東京電力管内の情報を主にご紹介しております。他地域の方は、それぞれの電力会社のホームページなどで情報をご参照ください。

【お知らせ】 「しながわネガワット発電所」プロジェクト（試運転企画）のお誘い

この企画は、いわゆる「節電クラブ」のようなものです。

“ネガワット”とは、「電力消費を減らすことで、同量を発電したものと同等効果を生み出す」ということを意味する最近注目されているキーワードです。別にお金をかけて電気を作る発電所を建てるわけではありません。仮想の草の根発電所といったところでしょうか。

昨年の「しながわ節電コンテスト」では、7～9月の3ヶ月間の募集期間で合計1,536世帯が応募、その結果、前年と比べて258,187kWh（キロワットアワー）の節電を記録したそうです。例えば、この258,187kWhがネガワット発電所の発電量になります。こんな感じのネガワット発電所の共同チームをつくろうというのが企画

の趣旨になります。

実験的に2012年6月～9月の3ヶ月間「運転」します。参加は無料。集計のために、品川区民か否か程度の情報を教えていただき、この3ヶ月の間の節電状況を自己申告いただき、10月末までに集計します。ご興味ある方には詳しい資料を電子メールでお送りします。お問い合わせは、shayashi@ba2.so-net.ne.jp（環境記者 林）まで。

なお、本企画は品川区環境課のアドバイスを受けて、区民環境記者である林個人が運営します。

平成24年6月1日

林 彰一（記者NO.120101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月04日

エネルギーダイエット (第3回) 節電プランづくり

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月08日

さて、いよいよ節電アクションの本丸です。

しかし、その前に、電気の基本的な知識の確認をしましょう。これまで説明してきましたませんが、電気の単位についてです。知っているよという方は、どうぞ飛ばしてください。

<“kWh”と“kW”って何?>

ダイエットする時には体重計に乗りますが、キログラムという単位で計測しますね。電気の場合は、どのくらい使ったかの「電力量」を“kWh”（キロワットアワー、またはキロワット時）という単位で表します。「先月は、300キロワットアワー使ったけれど、昨年より20キロワットアワー節電できた。」などと言います。他方、“kW”（キロワット）というのは、機器の1時間あたりの「消費電力」を表す単位です。たとえば1.5kW(=1500W)の電子レンジは、1時間連続で使うと1.5kWhの電力量を消費します。5分間だと、0.075kWhです。このkWhとkWの関係は、自動車の速度と距離の関係に似ています。時速60キロメートル（“kW”の方に相当）で1時間運転すると、60キロメートル（“kWh”の方に相当）走ります。同じ速度で5分間だと3キロメートルになります。

この電気の単位の知識は、節電を計画するうえでとても重要です。どうしてかという、節電の目的には、大きく2つあります。

1. 無駄な電気の使用をやめる → 電力消費の総量を減らし、電気代を節約する
2. 電力需要ピークカット協力 → 電力不足が心配される時間帯に自分も節電する

この1が“kWh”の削減を意味していて、2が“kW”の削減のことなのです。全体量を減らす目的の時、ある時間帯の電気の同時使用を減らす目的の時、それぞれの単位を意識すべきか、これで理解できるようになったかと思います。

さて、基本を確認したところで、節電のプランづくりの本題です。節電アクションには、以下の3つの種類があると言われています。

「減らす」	(例) 無人の部屋のエアコンを切る。冷蔵庫の設定強度を「強」を「中」に切り替える。使用しない電気製品のプラグをコンセントから抜く、等
「ずらす」	(例) 電気使用の多い時間帯をさけて、朝9時前までまたは夜8時以降にアイロンをかける。掃除機、電子レンジ、アイロン、電気炊飯器など大電力を消費する機器を同時に使用しない、等
「切り替える」	(例) 古く効率の悪いエアコンや冷蔵庫を新型の省エネ製品（5つ星）に買い換える。電気ポットや炊飯器を使わず、ガスを使って湯を沸かしたり、土鍋で炊飯する。エアコンを扇風機で代用する、太陽光発電システムを取り付ける、等

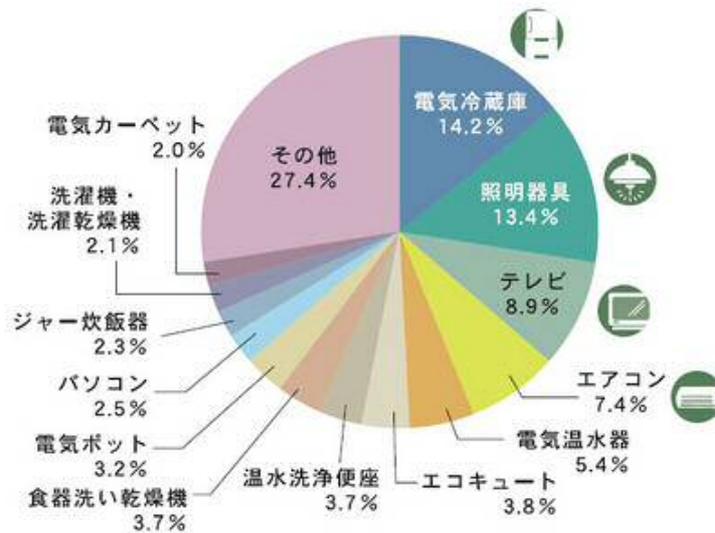
この3種類の特性を理解しましょう。特に「ずらす」は、前述のピークカット向き“kW”対策です。ですが、単に時間をずらすだけならば“kWh”の節減にはなりません。では、我が家で具体的に何をどうやっていくかは、およそ以下の手順になります。

1. どんな電気製品を持っているかリストアップし、消費電力（kW）の情報も調べる

キッチン、浴室まわり、リビング、共用部、個室、玄関・ベランダ、ガーデン周

エアコンを省エネタイプのものに買い換えたこと、ダウンライトをLEDに交換したことが一番貢献度が大きかったようです。

ちなみに、下の円グラフは、一般的な家庭の機器別電気使用量の状況だそうです。



出所：経済産業省 総合エネルギー調査会 省エネルギー基準部会(第17回)資料
「トップランナー基準の現状等について」(平成23年12月26日)
※資源エネルギー庁平成21年度民生部門エネルギー消費実態調査(有効回答10,040件)
および機器の使用に関する補足調査(1,448件)より日本エネルギー経済研究所が試算

4. 効果のほどを確認する

これは、前回「第2回「電気ご使用量のお知らせ」の情報の読み方、記録方法など」で詳しく解説させていただきました。以前と比較して、節電効果が出ているか、数字の評価の仕方が大切です。今までやっていなかったことをやれば結果が出てくるはず。電気代が安くなったり、経済的なメリットが見えると、継続の励みになります。私の場合、昨年1年、節電を頑張ったので、今年は昨年の消費量(kWh)を上回らないようにすること、夏と冬のピークカットに気をつけるという、やや緩やかな目標を持っています。

以上

この記事の情報は、2012年6月6日現在の各出典元の情報や報道によっています。また、企画の性格上、東京電力管内の情報を主にご紹介しております。他地域の方は、それぞれの電力会社のホームページなどで情報をご参照ください。

【お知らせ】 「しながわネガワット発電所」プロジェクト(試運転企画)のお誘い

この企画は、いわゆる「節電クラブ」のようなものです。

「ネガワット」とは、「電力消費を減らすことで、同量を発電したものと同等効果を生み出す」ということを意味する最近注目されているキーワードです。別にお金をかけて電気を作る発電所を建てるわけではありません。仮想の草の根発電所といったところでしょうか。

昨年の「しながわ節電コンテスト」では、7～9月の3ヶ月間の募集期間で合計1,536世帯が応募、その結果、前年と比べて258,187kWh(キロワットアワー)の節電を記録したそうです。例えば、この258,187kWhがネガワット発電所の発電量になります。こんな感じのネガワット発電所の共同チームをつくろうというのが企画の趣旨になります。

実験的に2012年6月～9月の3ヶ月間「運転」します。参加は無料。集計のために、品川区民か否か程度の情報を教えていただき、この3ヶ月の間の節電状況を自己申告いただき、10月末までに集計します。ご興味ある方には詳しい資料を電子メールでお送りします。お問い合わせは、shayashi@ba2.so-net.ne.jp (環境記者 林)まで。

なお、本企画は品川区環境課のアドバイスを受けて、区民環境記者である林個人が運営します。

平成24年6月6日

林 彰一（記者NO.120101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月08日

「花交差点の仲間たち」が「みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰」を受けました

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月08日

「花交差点の仲間たち」が「みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰」を受けました。

この表彰は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進活動の模範として表彰するというもので、今年 は23回目です。

6月2日（土）秋田県立中央公園あきたスカイドームで行われた式典には皇太子さまもご出席され、受賞団体の代表が国土交通大臣から表彰されました。私たちもボランティア代表4名で出席いたしました。

受賞団体は全国で87団体、東京都区内では6団体が受賞し、賞状と記念品（輪島漆器の写真立て）を戴いてまいりました。

受賞団体をみますと長い年月維持活動を行い、花やみどりを介して地域や仲間の繋がりの輪を広げ、それらを大切にしている団体が表彰されています。

「花交差点の仲間たち」の活動も9年目を迎えましたが、皆様方の協力で活動が維持できていますので、今後もお力添えよろしくお願いします。

「花交差点の仲間たち」の受賞歴

- ①2010年「しながわ環境大賞」
- ②2010年「国土交通省 東京国道事務所長 感謝状」
- ③2012年「みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰 感謝状」

私たちは、この活動を通して、みんなの共有財産である「環境」や「景観」を守っていきたくと思っています。



平成24年6月4日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月08日

大井ふ頭中央海浜公園の花々

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月12日

都立大井ふ頭中央海浜公園では、ハーブや宿根草が週替わりに花を咲かせていました。

5月下旬より6月上旬まで数回訪れましたが、その都度色味や雰囲気異なり毎回楽しめず。

いくつかご紹介させていただきます。

その①、乾燥に強く、ロックガーデンなどの乾燥する場所を好む“酔仙翁（スイセンノウ）”です。 きっと野生化しているのでしょうか。 草丈は50～70センチくらいで、葉も茎も柔らかい白毛で覆われているのが特徴かな？ 茎先に5弁花をつけて、花径は2～3、花の色は明るい紅紫色が多いですが、白やピンクのものもあるようです。 僕は見たことが無いのですが・・・

その②、“ラベンダー”と“ローズマリー”の勢力争い！ 公園の花壇に植えられた2種類のハーブですが、年々株が大きくなって勢力争いになっていました。 こちらはこれからが楽しみな一角でした。



酔仙翁（スイセンノウ）



ラベンダー”と”ローズマリー”

その③、こちらは“京鹿子” 僕はあまり東京では見かけないのですが、この公園では結構群生して咲き乱れていました。 花が咲くまでは雑草と勘違いされてしまいそうな葉形をしていますが、このように満開を迎えると存在感のある花です。

その④、紫色が鮮やかな“マロウ”(ウスベニアオイ) かなり大きくなるハーブです。 葉と葉が重なって混み合ってきたら適当に葉を間引いて日光が十分に当たるようにするとどんどんと花が咲きやすくなります。



京鹿子



マロウ(ウスベニアオイ)

その⑤、そして “シロツメクサ=クローバー” と呼ばれる多年草 シロツメクサは漢字で書くと「白詰草」。 つる性で茎が地面を這い、葉腋から伸びる花茎の先に白い小花が球状になった花を咲かせてくれます。 こうやってアップの写真だととても綺麗です。小さな女の子が、四葉のクローバーを探したり、花茎を根の直ぐ上から摘んで編み、腕輪や髪飾りにしていますね。 踏みつけれられても丈夫な野草で、開花期は長く秋まで咲き続けます。



シロツメクサ=クローバー

まだまだ、このほかにも沢山の花々が咲き乱れていますので、是非お時間がありましたら行ってみてください。

平成24年6月11日

徳島政治（記者NO.100106）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月12日

エネルギーダイエット（第4回）電気料金メニューを理解して値上げ対策！ （1）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月18日

すでにご承知のとおり、東京電力は平成24年5月11日付で「**電気料金の値上げについて**」の報道発表をし、経済産業大臣に値上げの申請を行いました。それを知って私も、「7月1日より平均10.28%も上がるの？」とびっくりしました。しかし、さすがに従来のようにすぐに認可とはいかず、現在政府の**電気料金審査専門委員会**というところで精査中で、7月からの値上げは無理とのこと。この件については、いろいろなご意見があると思いますし、いつどうい内容で決着するのか分かりませんが、節電に取り組む家庭の立場から、電気の利用契約について再認識、再検討する良い機会になるのではないのでしょうか。

2012年6月現在、東京電力の一般家庭向けの電力契約メニューには、以下のものがあります。

1. 従量電灯B
2. おトクなナイト8・10（時間帯別電灯【夜間8時間型】／【夜間10時間型】）
3. 電化上手
4. ピークシフトプラン（ピーク抑制型季節 別時間帯別電灯）

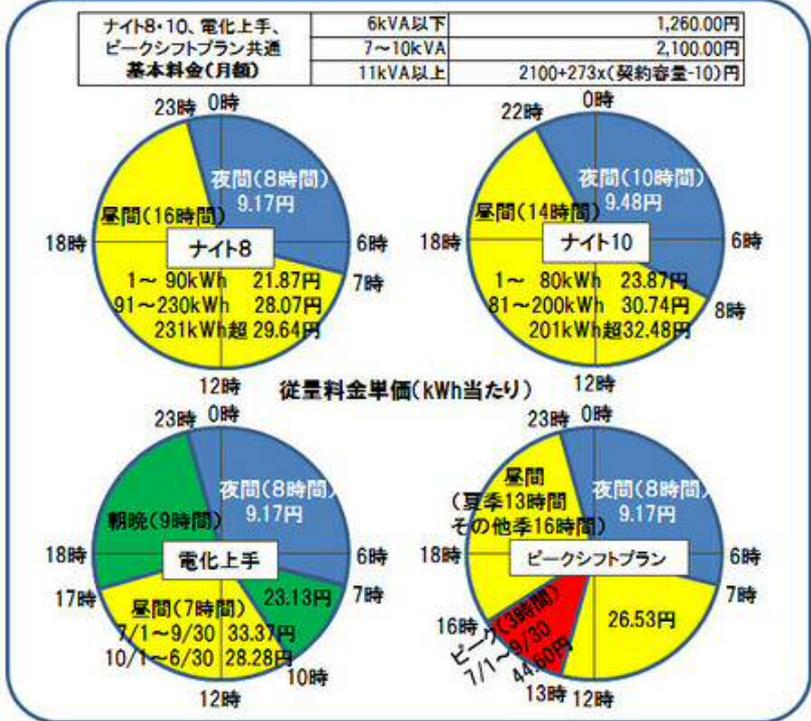
おそらく大多数の方が1の従量電灯でしょう。このメニューで30A（アンペア）とか、40Aとかの容量を選んで契約しているはず。2～4のメニューを選択しているご家庭は、1と比較して契約内容をよく考えたことがあるはずですので、今回は1のご家庭の方向けを中心にお話を進めたいと思います。

「従量電灯B」と、その他のメニューの違いは一言でいうと、時間帯毎に電気料金の違いがあるかどうかです。「従量電灯B」は、何時に電気を使おうが料金は同じです。

「おトクなナイト8・10」は、【夜間8時間型】と【夜間10時間型】の2種類あり、それぞれ違った夜間の時間帯が設定され、その時間の料金は大きく割安に、それ以外の時間帯（昼間）は反対に割高な料金が設定されています。単身や共稼ぎ等で、昼間は留守が多く、帰宅後の夜間に電気の使用が多くなる世帯や、昼間は太陽光発電で電力自給率が高く、夜は電気を購入する世帯等が、電気代を「従量電灯B」より安くしようとする時に使えるメニューです。

「電化上手」と、この6月1日に出来たばかりの「ピークシフトプラン」は、夜間の割安料金を設定しているところは「おトクなナイト8・10」と同様ですが、世の中の電力需要がピークになる特定の時間帯をかなり割高にし、夜間とピーク時間の中間の時間帯の料金をやや割高にしているという特徴があります。電力会社による需要ピーク抑制策の目玉です。

とてもややこしいことに、それぞれのメニューの夜間、昼間、ピーク時間、中間の時間は、定義が異なっていますので、注意が必要です。図解すると以下ようになります。



注：料金は、基本料金（月額）と従量料金の合算。このほかに同一条件で燃料費等調整費と太陽光発電促進付加金が別途かかる。

図中にkVAという容量の単位が出てきますが、100V（ボルト）の電灯線の場合、1kVA=10Aと換算して結構です。3kVAなら30Aに相当します。

私の場合は、3年前に太陽光発電システムを設置しましたので、「ナイト10」の容量4kVAで契約していますが、昨年1年間で計算すると「従量電灯B」で契約する場合と比べて、4,237円お得になりました。

割安になるポイントは、図中の各円グラフにある1kWhあたり9.17円とか、9.48円という大変安い深夜電力をどのくらい活用できるかにかかっています。大体、平均的な電気料金単価は23円ほどだそうですから、約6割引です。今まで時間帯を気にせず使っていた消費電力が大きいアイロン、洗濯機、電子炊飯ジャー、電気食器洗い機などを、夜10時、11時以降に使うように工夫することです。タイマーがある機器なら、夜間帯の時間内に起動し、終了するようセットしておくとも良いでしょう。帰宅やおやすみの時間など普段の生活リズムとの兼ね合いがあるので、このような電気機器使用の時間移動にチャレンジできるかどうか、是非考えてみてください。チャレンジに成功したら、月々の電気代が安くなるということや、寝苦しい熱帯夜のエアコンの電気代も格安料金で使えて気が楽だとかの特典が待っています。

さて、ではチャレンジすることに決めたとして「従量電灯B」以外のどのメニューを選ぶべきか悩みますね。それに、冒頭に述べた「値上げ申請」の行方やその影響も気になるところです。仮に、申請通りに値上げされたとしたら、それぞれのメニューの料金がどうなるか試算してみました。気をつけるべきことがいろいろ分かりましたが、長くなりましたので、次回にご紹介したいと思います。

以上

この記事の情報は、2012年6月15日現在の各出典元の情報や報道によっていま

す。

また、企画の性格上、東京電力管内の情報を主にご紹介しております。他地域の方は、それぞれの電力会社のホームページなどで情報をご参照ください。

平成24年6月15日

林 彰一（記者NO.120101）

カテゴリ: 平成24年度

投稿日: 2012年06月18日

次世代照明「有機E L」実用事例紹介

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月18日

都内某駅にて、日本でも珍しい（おそらく駅では初）有機E L照明が今年3月に設置されました。駅の改札案内室に設置されています。



有機E LはL E Dの一種で、次世代の照明として研究されており、小さい液晶パネルに使われているのみで、照明としてはもう少し先に実用化されていくといわれています。

有機E Lの特徴は、有機塗料を塗布して電気を流して発光する原理で、現在のL E Dに比べて、さらに薄く作れて省エネで全体的に光を照らすので、目にも優しい光のイメージになります。

昨今、省エネという事で、身近にL E Dを見かける事が多くなってきました。クッキリとした明るさがL E Dの特徴ですが、白熱電球やネオン管など、やさしくどこことなく味わい深い昭和の雰囲気が減っていくような寂しい気もします。何でもL E Dというより、場所によって相応しい材料を使い、白熱電球やその他の照明など、色々と組み合わせていく方が楽しいと思いますが、未来の子供たちへの環境という事を考えれば、仕方のない事なのではないでしょうか・・・

平成24年6月14日

辻本喜律（記者NO. 110101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月18日

「鹿島庚塚公園」の清掃

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月22日

品川・大井町みどりと花を守る会の最近の清掃ボランティア活動をご報告します。6月19日(火)、今日から明日にかけて関東にも台風の影響が出るか? という状況でしたが雨にも降られず、定例の清掃ボランティア活動は無事終了しました。今回も、ベンチの下や周辺には煙草の吸殻やコンビニの弁当殻が放置されていました。

又、最近暑かったせいか・・・ ビールの空き缶も目立ちましたね。



あまり愚痴を言っても始まりません。

さっさと綺麗にしようと言う事で、参加者全員で活動を開始し綺麗な公園に蘇りました。



雑草の酷かった花壇は、品川区の定期的な剪定活動により綺麗に整備されていたので、ゴミもない! 剪定も完了した! 完璧な児童遊園となりましたよ。

平成24年6月20日

徳島政治 (記者NO.100106)

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月22日

最近のE C Oとの関わり

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月22日

5月27日（日）しながわE C Oフェスティバルにて



東京都立大崎高校の生徒さんがボランティアで参加してくれました。大人に混じってよくやってくれました。感心！感心！（5月27日（日）撮影）



ナミアゲアハの幼虫とバッタ。6月11日（月）撮影。ちょっと涼しい風が吹いているせいで、じっとして動きません。

6月に入りスーパークールビズが始まりました。社屋の節電取組を改めてチェックしました。前年度より若干オーバー。「もう少し節電を気にしていただき取り組みを！！」社内全員に呼びかけましたが、去年より危機感が薄れた感じがします。ライトダウン6月21日、7月1日 夜8時から10時の間消灯（この日は早く帰れます）に登録し参加する予定です。また環境省の「オフィスの節電アクション！」にも登録し参加、社の環境担当として推進しています。

平成24年6月11日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月22日

エネルギーダイエット（第5回）電気料金メニューを理解して値上げ対策！（2）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月25日

前回は、一般家庭向け電力契約メニューの種類とその概要についてご説明しました。そこで、今回は節電アクションとからめてどのメニューを選択すればよいか、東京電力の値上げ申請の動きも踏まえて考えてみたいと思います。

まず、現行の料金制度での試算をしてみますが、東京電力は、標準世帯を、「従量電灯B 契約容量30Aの契約世帯で、月に290kWh使用する世帯」としています。しかし、生協や消費者団体から、「この東京電力の標準世帯のモデルは生活実感からして少なすぎるのでは」との異論もあり、月に400kWhあたりが平均的ではないかとも言われています。そこで今回の記事では、

Aさん＝従量電灯B 30A 月間290kWh

Bさん＝従量電灯B 40A 月間400kWh

の2人の世帯を試算のためのモデルケースとして、検討を進めていきたいと思います。

さて、電気料金を計算していくのですが、計算の仕方はご存じでしょうか。第2回記事の画像を再掲します。

The images show two versions of a TEPCO electricity bill. The left one is a notice of usage for April, and the right one is a monthly bill for March. Both bills are annotated with green numbers 1 through 12, corresponding to the text below. The bills include fields for usage (290 kWh), contract type (従量電灯B), and various charges like basic fee (819 yen), electricity meter charges (2,144 yen), and fuel cost adjustments (3,886 yen).

上の5のところに縦書きで「上記料金内訳」とあります。内訳は、「基本料金」「電力量料金」の1段料金、2段料金、それから「燃料費調整額」、「太陽光促進付加金」、「口座振替割引」とあり、これらの金額を合計したのものが、請求予定金額です。

平成24年6月時点での東京電力の料金表によりますと、「基本料金」は、従量電灯B 30Aを契約している世帯なら、月額819円と決まっています。これに対して、実際に使った量に応じてかかる料金が「電力量料金」（従量料金とも呼ばれます）。1段料金、2段料金とありますが、300kWhを超過した場合には、さらに3段料金が発生します。各段階の料金は適用使用量範囲とkWh当たりの単価がそれぞれ違い、段階が上がるほど単価が高く設定されています。前出のAさんのケースで説明すると表1の通りになります。

表1 従量電灯Bの月額料金計算方法

■従量電灯B (税込み)			
契約容量	30A		
使用量 (kWh)	290		

	単価(円)	数量(khW)	料金(円)
基本料金	819.00		819.00
第1段階料金	最初の120kWhまで	120	2,144.40
第2段階料金	120kWh超、300kWhまで	170	3,886.20
第3段階料金	300kWh超	0	0.00
燃料費等調整費	平成24年1～3月の貿易統計実績に基づく参考値	290	159.50
太陽光発電促進付加金	平成24年度料金(小数点以下切り捨て)	290	17.00
合計(小数点以下切り捨て)			7,026.00

基本 料 金 表	10A	273.00
	15A	409.50
	20A	546.00
	30A	819.00
	40A	1,092.00
	50A	1,365.00
60A	1,638.00	

上表では燃料費等調整費の単価は、東京電力が値上げ申請時の比較試算用に設定したものを使用しました。実際にかかるものとは若干異なりますからご注意ください。太陽光発電促進付加金は、本年度の実際の単価を使用しています。また口座振替割引は省略しました。

Aさんの支払い料金の計算結果は7,026円になりました。同様に計算すると、Bさんの場合は10,008円です。これは、「従量電灯B」の場合の計算でしたが、「おトクなナイト8・10」「電化上手」「ピークシフトプラン」の場合も基本的には同じです。

では次に、Aさん、Bさんが同じ電力消費のまま、他の料金メニューに契約替えると、どうなるのかを考えてみます。従量電灯Bとその他のメニューの違いは、時間帯の単価という設定があるかないかです。ですから、他の料金メニューで計算するには、時間帯ごとの電力量配分が必要です。でもまだ契約変更していないので、時間帯毎にどのくらい使うのか分かっていません。そこで、考え方として、まず他のメニューで、従量電灯Bの現在の料金とほぼ同等になる、時間帯ごとの電力量配分をシミュレーションしてみます。ちょっと細かくなりましたが、まとめたものが以下の表です。

表2 従量電灯Bの料金とほぼ同等になる他料金メニューの使用量条件

Aさん (30A、290kWh/月) の場合

■従量電灯B			
契約容量(A)	30		
使用量 (kWh)	100.0%	290	
月額料金 (税込み)			¥7,026

■ナイト8			
契約容量(kVA)	3		
使用量 (kWh)	昼間(16時間)	51.7%	150
	夜間(8時間)	48.3%	140
	合計	100.0%	290
月額料金 (税込み)			¥7,028

■ナイト10			
契約容量(kVA)	3		
使用量 (kWh)	昼間(14時間)	55.2%	160
	夜間(10時間)	44.8%	130
	合計	100.0%	290
月額料金 (税込み)			¥7,037

■電化上手			
契約容量(kVA)	3		
使用量 (kWh)	昼間夏期(7時間)	26.6%	77
	昼間その他季(7時間)	0.0%	0
	朝晩時間(9時間)	26.6%	77
	夜間時間(8時間)	46.9%	136
	合計	100.0%	290
月額料金 (税込み)			¥7,034

■ピークシフトプラン (平成24年6月1日実施)			
契約容量(kVA)	3		
使用量 (kWh)	ピーク時間(3時間)	15.5%	45
	昼間時間(13または16時間)	26.6%	77
	夜間時間(8時間)	57.9%	168
	合計	100.0%	290
月額料金 (税込み)			¥7,026

Bさん (40A、400kWh/月) の場合

■従量電灯B			
契約容量(A)	40		
使用量 (kWh)	100.0%	400	
月額料金 (税込み)			¥10,008

■ナイト8			
契約容量(kVA)	4		
使用量 (kWh)	昼間(16時間)	62.3%	249
	夜間(8時間)	37.8%	151
	合計	100.0%	400
月額料金 (税込み)			¥10,006

■ナイト10			
契約容量(kVA)	4		
使用量 (kWh)	昼間(14時間)	55.2%	244
	夜間(10時間)	44.8%	156
	合計	100.0%	400
月額料金 (税込み)			¥10,010

■電化上手			
契約容量(kVA)	4		
使用量 (kWh)	昼間夏期(7時間)	29.8%	119
	昼間その他季(7時間)	0.0%	0
	朝晩時間(9時間)	35.0%	140
	夜間時間(8時間)	35.3%	141
	合計	100.0%	400
月額料金 (税込み)			¥10,006

■ピークシフトプラン (平成24年6月1日実施)			
契約容量(kVA)	4		
使用量 (kWh)	ピーク時間(3時間)	15.8%	63
	昼間時間(13または16時間)	37.5%	150
	夜間時間(8時間)	46.8%	187
	合計	100.0%	400
月額料金 (税込み)			¥10,008

例えば、Aさんが1ヶ月使う290kWhは、現在どの時間帯にどのくらい使っているのか分かりませんが、ナイト8の契約に変更し、昼間(朝7時～夜11時)に150kWh、夜間(夜11時～翌朝7時)に140kWhの配分で使えば、現在の従量電灯Bの料金とほぼ同等になります。もし、これを昼間130kWh、夜間160kWhの配分で

例えば、料金は6,650円となり、従量電灯Bより376円安くなります。

このように単価が高い時間帯から、夜間など単価が低い時間帯に使用量をシフトすればするほど、お得になっていくわけです。他方、逆のことをすれば、割高の料金を支払わなければならないということも忘れてはいけません。しかし、節電しているということは、電気の使い方に大変気をつけているということです。また、仮に失敗してもひと月数百円程度ですから、驚くほどの「高額請求」になるリスクはありません。毎月「やった！」「う〜む」とゲーム感覚で、自分のライフスタイル設計にあった料金メニューを選択することも可能ではないでしょうか。

と、ここまで書いてきましたが、まだ早まらないで最後までもう少しおつきあいください。

前回記事で触れましたように、もし5月11日付の東京電力の値上げ申請がそのまま認可されたら、表2と同一の容量・使用量配分でいくらになるか、まとめたのが下の表3です。

表3 値上げ影響の試算

Aさん (30A、290kWh/月) の場合

<現行料金>				<値上げ後>			
■従量電灯B				■従量電灯B			
使用量 (kWh)	100.0%	290		使用量 (kWh)	100.0%	290	値上率
月額料金 (税込)		¥7,026	→	月額料金 (税込)		¥7,505	6.8%
■ナイト8				■ナイト8			
使用量 (kWh)	昼間(16時間)	51.7%	150	使用量 (kWh)	昼間(16時間)	51.7%	150
	夜間(8時間)	48.3%	140		夜間(8時間)	48.3%	140
	合計	100.0%	290		合計	100.0%	290
月額料金 (税込)		¥7,028	→	月額料金 (税込)		¥7,663	9.0%
■ナイト10				■ナイト10			
使用量 (kWh)	昼間(14時間)	55.2%	160	使用量 (kWh)	昼間(14時間)	55.2%	160
	夜間(10時間)	44.8%	130		夜間(10時間)	44.8%	130
	合計	100.0%	290		合計	100.0%	290
月額料金 (税込)		¥7,037	→	月額料金 (税込)		¥7,665	8.9%
■電化上手				■電化上手			
使用量 (kWh)	昼間夏期(7時間)	26.6%	77	使用量 (kWh)	昼間夏期(7時間)	26.6%	77
	昼間その他季(7時間)	0.0%	0		昼間その他季(7時間)	0.0%	0
	朝晩時間(9時間)	26.6%	77		朝晩時間(9時間)	26.6%	77
	夜間時間(3時間)	46.9%	136		夜間時間(3時間)	46.9%	136
	合計	100.0%	290		合計	100.0%	290
月額料金 (税込)		¥7,034	→	月額料金 (税込)		¥7,838	11.4%
■ピークシフトプラン (平成24年6月1日実施)				■ピークシフトプラン (平成24年6月1日実施)			
使用量 (kWh)	ピーク時間(3時間)	15.5%	45	使用量 (kWh)	ピーク時間(3時間)	15.5%	45
	昼間時間(13または16時間)	26.6%	77		昼間時間(13または16時間)	41.7%	121
	夜間時間(8時間)	57.9%	168		夜間時間(8時間)	50.0%	145
	合計	100.0%	290		合計	100.0%	290
月額料金 (税込)		¥7,026	→	月額料金 (税込)		¥7,889	12.3%

Bさん (40A、400kWh/月) の場合

<現行料金>				<値上げ後>			
■従量電灯B				■従量電灯B			
使用量 (kWh)	100.0%	400		使用量 (kWh)	100.0%	400	値上率
月額料金 (税込)		¥10,008	→	月額料金 (税込)		¥11,000	9.9%
■ナイト8				■ナイト8			
使用量 (kWh)	昼間(16時間)	62.3%	249	使用量 (kWh)	昼間(16時間)	62.3%	249
	夜間(8時間)	37.8%	151		夜間(8時間)	37.8%	151
	合計	100.0%	400		合計	100.0%	400
月額料金 (税込)		¥10,006	→	月額料金 (税込)		¥11,010	10.0%
■ナイト10				■ナイト10			
使用量 (kWh)	昼間(14時間)	55.2%	224	使用量 (kWh)	昼間(14時間)	55.2%	224
	夜間(10時間)	44.8%	176		夜間(10時間)	44.8%	176
	合計	100.0%	400		合計	100.0%	400
月額料金 (税込)		¥10,010	→	月額料金 (税込)		¥11,096	10.8%
■電化上手				■電化上手			
使用量 (kWh)	昼間夏期(7時間)	29.8%	119	使用量 (kWh)	昼間夏期(7時間)	29.8%	119
	昼間その他季(7時間)	0.0%	0		昼間その他季(7時間)	0.0%	0
	朝晩時間(9時間)	35.0%	140		朝晩時間(9時間)	35.0%	140
	夜間時間(3時間)	35.3%	141		夜間時間(3時間)	35.3%	141
	合計	100.0%	400		合計	100.0%	400
月額料金 (税込)		¥10,006	→	月額料金 (税込)		¥11,123	11.2%
■ピークシフトプラン (平成24年6月1日実施)				■ピークシフトプラン (平成24年6月1日実施)			
使用量 (kWh)	ピーク時間(3時間)	15.8%	63	使用量 (kWh)	ピーク時間(3時間)	15.8%	63
	昼間時間(13または16時間)	37.5%	150		昼間時間(13または16時間)	37.5%	150
	夜間時間(8時間)	46.8%	187		夜間時間(8時間)	46.8%	187
	合計	100.0%	400		合計	100.0%	400
月額料金 (税込)		¥10,008	→	月額料金 (税込)		¥11,339	13.3%

いかがでしょうか。表の下の料金メニューにいくほど、値上げ率が大きくなっています。これは、現行の料金で夜間等割安に設定されていた単価を、他の時間帯のものより大きく引き上げようとしていることに原因があります。例えば、夜間料金単価はどれも10%どころか25%前後の値上げ申請になっています。ですから、値上げ前に「従量電灯B」から割安になるとして別の料金メニューに安易に変更すると、そちらのほうの値上げ幅が大きく、電力消費シフトをかなり頑張らなければいけなくなる可能性があります。ここがいま、政府の審議会や公聴会でも大きな問題とされている点ですから、今回の東京電力の値上げ計画が申請のまま通るかどうかわかりません。

よって、料金メニューの契約変更については、メニューの特性をよく理解したうえで、政府の認可の内容が固まった後に試算して決めるほうがよいと思います。ちなみに、「ナイト10」については、料金改定になったら、その時点から新規受付はしないと表明されています。「ナイト8」より使い勝手がよいメニューだけに、この点、注意しておいたほうがよいと思います。

今回は、従量電灯Bの料金メニューで、節電と値上げ対策の両方に有効な「アンペアダウン」を取り上げてみたいと思います。

以上

この記事の情報は、2012年6月20日現在の各出典元の情報や報道によっています。

また、企画の性格上、東京電力管内の情報を主にご紹介しております。他地域の方は、それぞれの電力会社のホームページなどで情報をご参照ください。

平成24年6月20日

林 彰一（記者NO.120101）

カテゴリ: 平成24年度

投稿日: 2012年06月25日

「花交差点の仲間たち」 ラベンダークラフトづくり

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月25日

環境整備ボランティア活動の中で、これから夏に向けて毎日の水やり作業がたいへんな時期になります。その中でも6月は一年で一番忙しい季節です。植栽に向けての地拵え、植栽、イベント開催（ラベンダークラフトづくり）など。

2004年歩道脇花壇にラベンダーを植えてから、ボランティアのシンボル花としてラベンダーを使ったクラフトづくりを開催してきました。現在、歩道のラベンダーは数本になってしまいましたが、勝島運河の花街道でラベンダーを育て、イベントを継続しています。年一回の「花ロード祭り」として皆で楽しんでいます。

2012年6月

「花交差点の仲間たち」

ラベンダークラフトづくり

マンション前歩道のラベンダーを使った
「クラフトづくり」に参加しませんか！

日時：6月24日(日) 午前10時～12時
最終受付 11:30 (雨天決行)

会場：ライオンズマンション大森 エントランス前

参加費：100円(クラフト2種お持ち帰りできます)



※ラベンダーの編み込みとポプリ袋を作ります。
※七夕の短冊飾りつけも一緒に行います。
お子様と一緒に参加ください！
※ルコウ草と朝顔の種をプレゼントします。

平成24年6月20日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月25日

聖蹟公園！赤い花植えました

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月25日



6月18日（月）夕方4時から聖蹟公園内花壇の花植替えをしました。

今回はサルビアとペコニアの赤色の花を少し多めに植えました。他にトレニア、インパチェンスを植え、全部で150株を植えました。約1時間の作業で終了。

品川区の「みどりと花のボランティア」に品川フラワーレンジャー名で参加しています。



完成してハイッ！ポーズ

真っ赤な花が夏の太陽に映えるのを期待しています。

聖蹟公園においでの際にはぜひご覧ください。

平成24年6月19日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月25日

最近の環境活動紹介

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月27日

最近の私たち(平塚二丁目町会)の環境活動についてご紹介します。

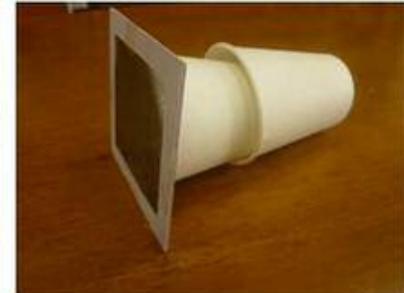
(1) 宇宙の話題

人口衛星に乗せ、長時間宇宙空間を漂わせた宇宙朝顔の種と宇宙トマトの種を6月3日にまき、6月8日に朝顔が2枚葉をつけました。また人工衛星に乗って地球236周したメダカの飼育を始めました。なお、種やメダカは東京大学から頂いたものです。



(2) こども科学クラブの話題

手作り作品の中で、科学の目を育てる取り組みが始まりました。町会会館にこども34名が集まり、備光板を使った万華鏡を作りました。自然の光の性質や不思議についてモデルを使ってとても判り易い話を聞き、自分で作った万華鏡に大喜びして持ち帰りました。



(3) 青紫蘇 (大葉)

町会会館前プランターに、昨年種を撒いた大葉が育ちました。自由にお持ち帰りいただくこと、看板に「ご自由にどうぞ」と書いて置いてあります。道行く人が水遣り不要のエコプランターから大葉を摘んで行き、ソーメンや冷奴などの料理に使っていらっしゃると思います。

なお、大葉の種は昨年種を保管し、4月に撒いたものです。薬散布はしていません。

虫に食べられた葉は、気が付いた人が摘んで生ゴミ乾燥器に入れ、乾燥後黒土に混ぜています。



平成24年6月19日
志賀 勝 (記者NO.060110)

カテゴリ : 平成24年度
投稿日 : 2012年06月27日

京浜運河観察近況

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月27日

相変わらず京浜運河の観察を続けています。

今年は去年の酸欠や大雨でアサリが殆どいない状況になってしまいました。これは1998年の時と全く同じ現象で、まだまだ本当にはきれいになっていない感じがしています。



一方、ゴミの多さや分別の状況については相変わらず出来ていないなと感じつつ、東京湾奥がゴミで埋まってしまうまいよう、ゴミの分別、減量化に頑張っています。

でも以前より個人の分別は良くなっており、何となく嬉しくも思っています。

平成24年6月22日

青野良平（記者NO.070103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月27日

しながわ花海道でコスモスの種まき

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月27日

平成24年6月24日（日）（10:00～12:00）立会川河口の東京湾入江の護岸（通称・しながわ花海道）で、「コスモスの種まき」がしながわ花海道プロジェクト主催で行われました。

しながわ花海道では毎年春から夏にかけてコスモスの種をまき、コスモスが咲き乱れる秋には翌春咲く菜の花の種まきをします。

私も一区画をお借りしており、コスモスの種をまきました。秋には、一面に咲く赤やピンクなどのきれいなコスモスが、見る人の目を楽しませてくれることと思います。



平成24年6月25日

畔柳今朝登（記者NO.090106）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月27日

エネルギーダイエット（第6回）アンペア・ダウンって何？

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年06月29日

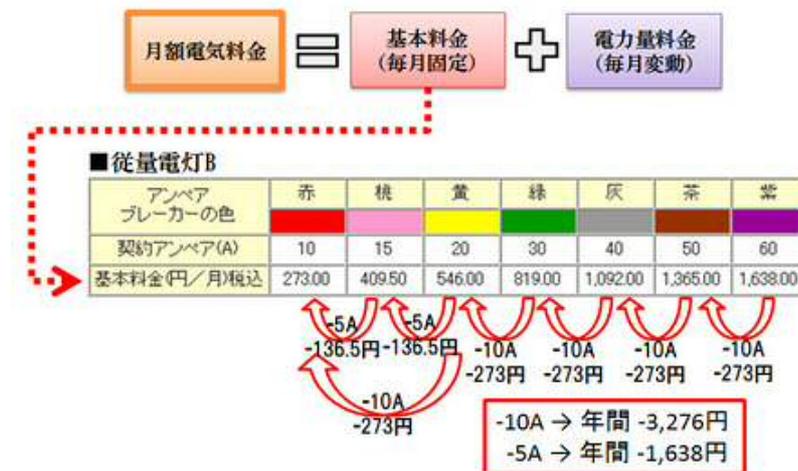
今回の記事では、簡単に電気料金を下げられて、しかも節電促進になる「アンペア・ダウン」という対策法をご紹介します。

「アンペア・ダウン」とは、現在契約している容量をより小さくしていくことです。昔はあまり聞き慣れない言葉でしたが、昨今は、新聞でもテレビでもよく取り上げられるようになりました。電気の契約容量は、「電気ご使用量のお知らせ」でも、ご自宅の分電盤の扉を開けて直接確認することも出来ます。下の写真は我が家の分電盤で、40A（アンペア）の例です。



一番左に黒いボックスが見えますが、これがアンペア・ブレーカーと呼ばれるものです。そこに灰色の地に白抜きで「40A」という文字が見えます。

おさらいですが、電気料金は下図に示したように、契約容量（アンペア）で決まる基本料金（毎月固定額）と使った電気量に応じて変動する電力量料金を加算したものになります。この契約容量をより安いものに下げ、基本料金を節約しながら、下げた契約容量の範囲で電気をやりくりしながら生活していこうというのが「アンペア・ダウン」です。



上図には、電力契約メニューのうち「従量電灯B」の契約アンペア別基本料金表を記載しましたが、ご覧の通り、10アンペア下げると273円下がります。（中間に契約容量15Aというものがあり、20Aから5A下げると273円の半分、136.5円下がります。）10アンペア下げた契約に変更すると、基本料金については年間で、3,276円も電気代を下げることができる計算になります。第5回の記事で、従量電灯Bから他の料金メニューに変更することで節電と料金節約を目指す方法を検討しましたが、アンペア・ダウンは従量電灯Bの契約のままで同じことをやろうとするものです。

ちなみに、従量電灯B以外のメニューの基本料金は、第4回の記事で解説したとおり、以下のような設定になっています。

ナイト8・10、電化上手、 ピークシフトプラン共通 基本料金(月額)	6kVA以下	1,260.00円
	7～10kVA	2,100.00円
	11kVA以上	2100+273x(契約容量-10)円

ここではkVAという単位が書かれていますが、数字を10倍して6kVAなら60Aと読み替えてください。この表でいうと60Aアンペア(6kVA)以下は一律1,260円で50Aや40Aにアンペア・ダウンしても同じ料金です。しかし、70Aの方が60Aにアンペア・ダウンすると840円も一気に基本料金を下げることができます。こうした条件の方にメリットがあるだけということになります。逆に現在40Aの方が60Aに引き上げても、基本料金は同じということですが、これをやっしまえば肝心の「節電意識」が大きく後退してしまいます。

契約容量を下げるということは、「同時に使える電気の量」の制限をより厳しくするということを意味します。もっと具体的にいうと、日常生活のなかで同時使用量が制限を超えてしまうと、アンペア・ブレーカーが落ちて一時停電してしまう可能性が高まる、ということです。夜間にそうなってしまうと、突如照明も消えて真っ暗になり、びっくりしてしまいます。そして、暗闇の中をブレーカースイッチをONにしに行かなければなりません。バッテリーのないデスクトップPCなどを使っていたらデータが消えたり、TV番組の録画が停止してしまったり、いろいろな機器の時刻設定が初期化されてしまったりと、いろいろと不都合・不便を思い浮かべてしまいます。

まさに、電化製品の増加に合わせて、こうした事態を嫌がって契約容量はどんどん上がってきたという歴史があります。30年ほど前の平均的な家庭の契約容量は20～30Aだったそうですが、現代では、新築マンションなどでは苦情にならないよう50とか60Aを標準としているそうです。節約意識が薄れ、停電の不便を感じないように、湯水のように電気がどんどん使える暮らしを求め、いつの間にかそれに慣れてしまいました。

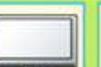
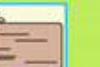
そうした生活を見つめ直し、アンペアを下げるという制約をわざと設けて、超過すると停電するというペナルティ付きで節約意識を取り戻すというのが、アンペア・ダウンのとても大切な意義です。

とはいえ、アンペア・ブレーカーがあまりにも頻繁に落ちると不便すぎるので、家族と相談して、協力してチャレンジできる無理のないアンペア・ダウンを計画しましょう。大抵は、様子を見るため、マイナス10アンペアというところに落ち着くようです。東京電力によるとアンペア変更の手続きは、原則1年に1回ということです。アンペア・ブレーカー交換工事は20～30分、工事費は無料だそうです。

さて、工事が完了したら電気製品の使い方、使うタイミングに気をつけて生活することになります。消費電力の大きな電気製品を複数同時に使わないというのが鉄則です。となると、我が家にどういう電気製品があり、それぞれどのくらいのアンペア数なのか、通常どういうタイミングで使用するのかを、あらかじめ把握しておかなければなりません。

最近(6月18日)、NHK「あさイチ」という番組で、「知らないで損！わが家の節電大作戦」という特集のなかで、アンペア・ダウンについて放送していました。そこで紹介されていたのが、下の「主な家電 アンペアの目安」です。

主な家電 アンペアの目安

 電子レンジ 14A	 ホットプレート 10A	 冷蔵庫 1.5A	 エアコン 10A
 掃除機 13A	 ドライヤー 10A	 除湿機 10A	 扇風機 0.4A
 炊飯器 12A	 食洗機 9A	 テレビ 3A	 蛍光灯 0.3A
 衣類乾燥機 12A	 電気ケトル 10A	 オイルヒーター 13A	 ホットカーペット 8A
 アイロン 10A	 電気ポット 9A	 こたつ 5A	 ガスファンヒーター 0.5A
 洗濯機 2A	 コーヒーメーカー 8A		

これは製品毎の一般的な目安ですが参考になります。(アンペア・ダウンの暮らしをするには、ご自分の家にある製品の実際のアンペア数を調べてください。100V電灯線の場合、機器の消費電力が1000Wと書いてあれば、 $1000W \div 100V = 10A$ というように100で割った数がアンペア数です。)

上図からは、熱を発するもの、動力を必要とする家電製品のアンペア数が大きいことが読み取れます。また、ピンクの枠で示された家電製品は、アンペア数が大きめながら比較的短時間使用されるもの、水色の枠のものは常時または長時間使われる傾向のものを表しています。エアコンやこたつなど、季節によって使われるものも変わります。契約容量(アンペア)を限度として、同時に使える家電製品をそのアンペア数をもとに足し算して考えます。番組では、60Aから50Aのアンペア・ダウンにチャレンジした夫婦2人、子供4人の6人家族の例が紹介されていましたが、どの家電製品をどのくらい同時に使うとブレーカーが落ちるのか実験していました。常時通電している冷蔵庫や照明に加えて、電気ケトル(10A)、電子レンジ(14A)、トースター(6A)、食洗機(9A)、エアコン(10A)、液晶テレビ(3A)と次々にスイッチを入れていき、ドライヤー(10A)をつけたところでブレーカーが落ちて暗闇になりました。普段このような機器の使い方はしないのでしようが、契約容量を50Aに落としても、大電力を消費する家電製品をここまで同時に使えるということが分かりました。

それから有益な情報として、今のアンペア・ブレーカーは40Aだったら、40Aを超えてしまうと即座にシャットダウンする訳ではないと専門家が教えていました。1.25倍の余裕を持たせてあり、契約容量40Aなら、 $40A \times 1.25 = 50A$ の電力量が1時間流れ続けたらブレーカーが落ちるといった仕組みだそうです。それならあまりビクビクしすぎなくて良さそうです。

番組では視聴者からの質問があり、「夫の理解と協力が最大の障害。どうすれば

いいか」というものがありました。 「節約になった半分の額でお小遣いを上げてあげれば?」という回答がとても面白かったです。

いずれにせよ、自分や家族が気ままに大電力を消費する機器を同時に使ってしまうのを避け、コミュニケーションをとって気をつけて暮らせば、アンペア・ダウンは問題なく出来そうです。気をつけますから、つけっぱなしの無駄な電気がなくなったりしますので、節電になっていきますし、我が家の電力最大量を下げるわけですから、電力不足時間帯のピークカットにも貢献できます。

達人の領域になると、4人家族で15A、月額電気料金が2000円を切るという暮らしを実現している方もいらっしゃるようです。そういう方は、炊飯器を使わず鍋を使う、掃除機ではなく箒を、電気ポットではなくヤカンと魔法瓶を、と代替方法をちゃんと考えた暮らしを楽しんでいらっしゃるようです。

最近、私の妻も炊飯器をやめて、圧力鍋で炊飯するようになりましたが、早く炊けること、炊きあがったご飯の香ばしさ、おいしさにびっくりしています。

アンペア・ダウンにはいろいろな効用があるようです。

以上

この記事の情報は、2012年6月27日現在の各出典元の情報や報道によっています。また、企画の性格上、東京電力管内の情報を主にご紹介しております。他地域の方は、それぞれの電力会社のホームページなどで情報をご参照ください。

平成24年6月27日

林 彰一（記者NO.120101）

カテゴリ: 平成24年度

投稿日: 2012年06月29日

エネルギーダイエット（第7回）節電活動をご一緒にやりませんか？

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年07月13日

まだ関東地方は梅雨も明けない時期ですが、7月といえばもう夏です。この夏の節電に間に合うように、第6回まで駆け足で「我が家の節電チャレンジ」についてお話を進めてきました。当初、7月1日からとも言われた東京電力の値上げは、9月以降になり、値上げ幅も申請よりも圧縮されるとの報道が流れています。また関東地区は、関西や九州と違って電力不足による節電目標が設定されなかったことから、気の緩みが発生しないか少し心配なところですが、

電気料金は、値幅はともあれ値上げは確実ですし、節電目標が設定されなかったのは、昨年並みに家庭も企業も節電努力を継続することを織り込んでのことです。この夏はさらに賢く節電する生活習慣を身につけ、家計防衛にも備えることは大切です。

さて、連載の当初に記事の末尾でご案内していた「しながわネガワット発電所」プロジェクト。なかなか運営イメージが湧かない方もいらっしゃるようで、もう少し詳しい説明を載せた募集チラシを作りましたので、もう一度大きく宣伝させていただきます。

(画像をクリックすると拡大します)

節電クラブ

「しながわネガワット発電所」

試運転プロジェクト

参加無料 **メンバー募集**

こんな方…

- ・電力不足にならないようささやかでも貢献したい方
- ・電気を節約して家計を少しでも楽にしたい方
- ・地域でエネルギーのこと語り合いたいという方

お問い合わせ・申し込み：
shayashi@ba2.so-net.ne.jp 事務局 林 まで



しながわネガワット発電所とは？
ネガワットとは、節電分と同量を発電したものと同等効果を生み出すということを意味する最近注目のキーワードです。出資して本物の発電所を建てるわけではありません。いわゆる節電クラブのことで、“仮想の”草の根発電所といったところでしょうか。

なにをやるの？
難しいことはやりません。節電知識を教え合い、自宅でトライしてみるだけです。結果を共有しあって集計します。たとえ結果が思わしくなくても気にしません。知恵を出し合って、次にチャレンジするだけです。

試運転プロジェクトって？
運営がうまく行か、夏の期間（2012年6月～9月分）限定で20名程度のメンバーを募集してテストしてみます。

参加の条件は？
無料です。東京電力と契約している個人を対象。地域のつながりを大切にしたいので、東京都品川区や近隣地域にお住まいの方のご参加を想定しています。ボランティア事務局の負担軽減のため、インターネットをお使いの方が対象になります。毎月の結果報告のご協力お願いします。
(詳しくは裏面をご覧ください)

2012.07.08

「しながわネガワット発電所」試運転プロジェクト企画詳細

試運転運営方針：

1. 各世帯の事情に応じた無理のない賢い節電を各自が考え実行する
2. 節電の絶対量の単純な競い合いや煽るような運動はしない
3. 実施した結果の情報をシェアしあい、楽しく知恵や知識を身につける
4. どのような効果ができるのか、でないのか検証してみる

運営責任者： 区民ボランティア 林 彰一 shayashi@ba2.so-net.ne.jp
(品川区環境記者、(株)エコロジア代表 品川区小山2丁目在住)

期間： 2012年7月～10月試験的な運営を実施する。集計期間は2012年7月～9月分。

参加者の募集要項：

東京電力と契約している家庭（個人）が対象。品川区もしくは近隣にお住まいの方。運営要項に同意し、簡単なアンケートに回答し、申し込みされた方がメンバー。連絡には電子メール、ホームページを利用します。

無償ボランティアの運営都合上、FAXや郵送対応は行えません。

募集規模： 20世帯程度（ボランティア運営可能限界）

募集期間：

試験期間として2012年5月～9月末日。期間中はいつでも参加申し込み、脱退は自由。脱退されましても、原則、一旦計算された統計情報は保持します。

参加申し込み時アンケート概要：

1. ニックネーム
2. 居住地区名（〇区〇〇町〇丁目まで。地番なし）
3. 電力契約（電気料金メニュー）の種類
4. 世帯の人数
5. 発電設備の有無（太陽光発電、エネファームなどの燃料電池等）
6. 目標やコメント

毎月のアンケート概要：

- 〇月度利用
1. ご契約種別／ご契約
 2. ご使用量
 3. 昨年同月分ご使用量
 4. 実施した対策
 5. 電気利用環境において昨年と違った点、その他感想など

1～3は、「電気ご使用量のお知らせ」を元に記入。毎月アンケートメールを配信。月末までに返信。翌月10日までに集計発表をイメージ。

例： 7月分の「お知らせ」が7月21日に来た場合、7月末までにアンケート回収し、その統計結果を8月10日頃ホームページに掲載する流れ。
集計が終わり、掲載したことをお知らせするメールも同時に配信。

集計情報： 品川区、区外、総計の3区分で

1. 参加世帯数とその節電状況（対前年削減量、率）総計
2. 契約種別、世帯人員数を元にした統計情報（補正処理）
3. 対策項目別実施率など
(個人や世帯を特定できるような情報は一切表示されません)

東日本大震災、福島原子力発電所事故のあと、地域の住民同士のつながりが強まったといいます。上記と同様の取組みもその一環として全国に広がっているようです。私の住む品川区でもそうした結びつきが生まれればいいなと思っています。はじめはほんの小さなところから、ご一緒しませんか？

お問い合わせは、shayashi@ba2.so-net.ne.jp（環境記者 林）まで。

以上

この記事の情報は、2012年7月9日現在の各出典元の情報や報道によっています。また、企画の性格上、東京電力管内の情報を主にご紹介しております。他地域の方は、それぞれの電力会社のホームページなどで情報をご参照ください。

なお、本企画は品川区環境課のアドバイスを受けて、区民環境記者である林個人が運営します。

平成24年7月9日

林 彰一（記者NO.120101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年07月13日

狭いスペースで果実や野菜の栽培

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年07月17日

7月6日（金）曇り。

西中延三丁目で植木鉢を利用して果実や野菜を栽培しているおじさん「富谷さん」をご紹介します。

トマト数種類を自宅の狭隘な空きスペースを利用して栽培なさっています。ご近所の方々の指導もあって、トマトが小さなスペースの中でたわわに実っていました。

自家用では食べきれず、ご近所にもお裾分けをしているそうです。



小スペースには、イチジク・ブドウ・サクランボといった実を結ぶ木々が元気に育っており、サクランボは、なんと4種類の小枝を接木され、それぞれが一本の木で実を付けるという技術をお持ちです。



秋には、菊が大輪の花を咲かせる鉢も見受けられました。

平成24年7月9日

中西義治(記者NO.060108)

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年07月17日

3500本のマリーゴールドを植え込みました

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年07月18日

梅雨の季節になりました。
6月2日(土)に大崎駅周辺にマリーゴールド3500本を植え込みました。14団体でチームを作りましたが、植え方が浅かったり、混みすぎていたり・・・
その夜恵みの雨が降り、落ち着きました。
今回から14団体すべての立て札を立てました。これから夏は水遣りが大変。



大崎中の生徒たち



植え終わって水やりをしているボランティアさん



蝶の道とリサイクルすみれの会が植えました



地元機関誌ふれあい編集者が植えました
キャラクターに名入り

平成24年7月9日

高塚純江（記者NO.100101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年07月18日

第18回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2012年07月27日

平成24年7月10日(火)、第18回環境記者情報交換会が開催されました。

第一部は、今年度もインタメディア代表の佐山吉孝様からお話を伺います。メインテーマは「隣町を見て、我がまちを知る」で、第一回の今回は「東海道から池上道を歩いて、大田区を見る」というサブテーマでお話をしていただきました。



第二部は環境記者の皆さんの活動紹介です。

【勝山さん】

2006年より品川区の環境課のイベントを担当する環境推進委員として活動しています。7月の打ち水は主な活動のひとつです。昨年までは打ち水の浸透を図るためイベントとして行っていましたが、今年は色々な人に見てもらえるように、区内各所の夏祭りの中に組み込んでやっています。一斉打ち水イベントを7月22日に三木小学校をメイン会場にして開催します。例年通り打ち水百景写真コンクールをおこないますので、どしどしご応募していただきたいです。

【志賀さん】

宇宙の話題：人口衛星に乗せ、長時間宇宙空間を漂わせた宇宙朝顔の種と宇宙トマトの種を6月3日にまき、6月8日に朝顔が2枚葉をつけました。また人工衛星に乗って地球236周したメダカの飼育を始めました。こども科学クラブの話題：手作り作品づくりの中で、科学の目を育てる取り組みが始まりました。町会会館にこども34名が集まり、偏光板を使った万華鏡を作りました。青紫蘇（大葉）：看板に「ご自由にどうぞ」ということで町会会館前プランターから葉を摘んで道行き人がソーメンや冷奴に加えて、今年も楽しんでいます。

今年から3年計画で、品川区公園課の助成を受けて町中緑化に取り組むことになりました。個人所有の敷地の道路に面したところを緑化します。品川区の事務局と町会で話し合いを進めています。

【青野さん】

京浜運河の観察を始めて、38年目になります。今年は昨年の酸欠や大雨でアサリがほとんどいない状況になってしまいました。これは1998年の時と全く同じ現象で、まだまだ本当にきれいになっていない感じがしています。一方、ゴミの多さや分別の状況については相変わらずできていないなと感じつつ、東京湾奥がゴミで埋まってしまうよう、ゴミの分別、減量化に頑張っています。でも以前より個人の分別は良くなっており、なんとなく嬉しくも思っています。



【真壁さん】

南大井二丁目で歩道整備のボランティア「花交差点の仲間たち」の活動をはじめて

9年目になります。このたび「みどりの愛護功労者国土交通大臣表彰」を受賞しました。この表彰は、花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体を国民的運動としての緑化推進活動の模範として表彰するというものです。活動を始めるのは簡単ですが維持するのは大変です。皆様方の協力で活動を維持できていますので、今後もお力添えをよろしくお願いいたします。また、2004年歩道脇花壇にラベンダーを植えてから、ボランティアのシンボル花としてラベンダーを使ったクラフトづくりを開催してきました。今年は6月24日にラベンダーの編み込みとポプリ袋を作りました。

【丸山さん】

品川区民公園の管理の仕事をしています。放射能の関係で有機質の肥料を蒔いていないのですが、植物はうまく育っています。葉を腐葉土化し枝はチップ化しリサイクル還元して肥料として施しています。腐葉土が土壌に堆積し、効果が少しずつ出ていて自然にかえっているのかと思います。公園内の自然を維持するために人為的に手を加えなくてはいけない面もある中で区民公園の管理をしています。

センターで開催された緑のカーテン作りの講座で講師をしました。我が家で育てている緑のカーテンのゴーヤ、朝顔、へちま、ひょうたんは順調に育っています。参加された皆さんの成果も聞きたいと思っています

【畔柳さん】

相変わらず、歩道を歩いるときはポイ捨てゴミを拾って少しでも街がきれいになることを願っています。平塚橋から武蔵小山までの都道補助26号線の街路樹の下は、地元商店街のボランティアの協力を得て四季折々の草花が植えられています。花がいつも咲いており、歩行者に潤いを与えています。



【小野さん】

ボランティアで聖蹟公園の整備をしています。今年はレモンが実をつけました。ドキュメンタリー番組で、ロシアの放射能処理の問題を取り上げていました。先進国で処分できない放射性廃棄物がロシアの湖で廃棄されていて、放射能が湖から枝分かれした川に流れて地域住民の生活に深刻な影響を及ぼしているということです。先進国が原子力使用により放射性廃棄物を継続的に出しているという現状を何とかしてもらいたいと思います。

【塚さん】

6月12日に大崎駅周辺にマリーゴールド3500本を植え込みました。14団体が参加し、賑やかに楽しく作業をおこないました。参加団体は、大崎駅西口商店会、ニュー大崎マンション管理組合、芳水小学校、日野学園スマイルスクール、大崎中学校、清泉女子大学ボランティアセンター、新日鉄エンジニアリング、私たち、すみれの会などです。植え方が浅かったり、混みすぎたりしましたが、その夜恵の雨が降り、落ち着きました。これからの季節は水遣りが大変です。湧水を水遣りに使っています。

【新居さん】

5月19、20日に友人たちと「福島県で原発事故と農業を考える」ツアーを企画し二本松市と南会津町の二つの農家を訪問し、交流して来ました。二本松市はいまだに線量の高い地域です。そのようなところで農業を営んで行くための努力は並大抵のことではありません。放射能を吸収しない大豆の開発を東京農工大と提携して行い、カリウムの多い肥料を大量に使う、ゼオライトを通して用水を使うなどでセシウムを吸収を減らすこともしています。一方、南会津町は線量は低く新宿と変わらない線量であるにもかかわらず、風評被害で打撃を受けた地域です。ここは、私が17年ほど前に始めた農場があるところでもあります。原発事故後は、販売先の9割からキャンセルや返品をされたとのこと。これらの農家が、事故とどう向き合

い農業をどうしていくのかを話し合ってきました。創意と熱意で何とか地域の農業を守り、農業で生きていきたいという農家の方の強烈な思いをいただき、農業と生活の再生のお手伝いができればと思っています。



【徳島さん】

品川区環境基本計画作成懇談会の区民委員をしています。平成15年から24年までの計画が今年で終了し、来年から10年間の計画の大枠作りを1年かけて行います。6月19日（火）、定例の鹿島庚塚公園の清掃ボランティア活動をしました。今回も、ベンチの下や周辺には煙草の吸殻やコンビニの弁当殻が放置されていました。又、最近暑かったせいかビールの空き缶も目立ちました。この活動を始めて2年弱になります。看板を立ててゴミや犬の糞の処理のことを喚起すれば抑制できるのかもしれませんが、そこまでしなくてはできないのかというジレンマもあります。

【辻本さん】

東急線の自由が丘駅に有機EL照明が設置されましたので、早速見に行ってきました。おそらく駅では日本で初めてと思われる。有機ELはLEDの一種で、次世代の照明として研究されています。特徴は、有機塗料を塗布して電気を流して発光する原理で、現在のLEDに比べて、さらに薄く作れて省エネで全体的に光を照らすので、目にも優しい光のイメージになります。昨今LEDを積極的に取り入れて節電をしていこうという動きがあります。くっきりして明るさがLEDの特徴ですが、白熱電球やネオン管など、やさしくどことなく味わい深い昭和に雰囲気が減っていくような寂しい気もします。

【林さん】

春から環境記者として記事を書いています。原発事故が転機となり、エネルギー問題について考えるようになりました。再生可能エネルギーの視察ツアーでドイツに行き、色々な事例を見る中で、地域で住民が連帯して自分の町のことを考えていくことがいかに大事か学びました。その経験から、地域の仲間とともに節電をする「しながわネガワット発電所」のコンセプトを考えつきました。ネガワットとは、節電分で同量を発電したものと同等効果を生み出すということの意味しています。いわゆる節電クラブで、“仮想の草の根発電所”といったところでしょうか。自宅で節電した結果をメンバーで共有しあって集計し、楽しく知恵や知識を身につけていきます。興味を持って下さった方はメンバーに加わっていただければと思います。



今回は12名もの方が出席してくださり、賑やかな会になりました。それぞれのグループ、または個人で積極的に活動していらっしゃる様子を報告していただきました。全員が活動報告をしたところで、終了時間間近になってしまいました。意見交換ができる時間をもっと取れたらよかったですと思います。

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2012年07月27日

原発事故に負けずに頑張る福島県の農家を訪問

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年08月01日

福島県で原発事故と農業を考えるツアーを企画

5月19、20日の2日間、「福島県で原発事故と農業を考えるツアー」を行いました。私が全行程を企画し、友人たちに呼びかけて実現したものです。参加者は陶芸家、海外ボランティア、プロカメラマン、ルポライター、介護福祉士など、多彩な顔ぶれでした。それに山形県で有機農業をしている夫婦が現地で合流。総勢10人が、今もなお線量の高い二本松市で17代続いている地域の有機農業の草分け農家大内信一さんと、線量はほとんどないにもかかわらず、風評被害によって厳しい農業を強いられている南会津町の農家大塚春男さんを訪ね、原発事故以降の農業をどう営んできたのか、これからの農業をどうしていくのかについて率直な交流と視察をしてきました。

お二人とも70歳を超えた方々ですが、原発事故に負けないで、「福島県の農業がだめなら、放射能汚染列島となった日本全体の農業がだめになる。何としても農を守っていこう」ということでは地域は違っても思いは同じでした。ただ、これも共通していることでしたが、線量の高いところでは子どもたちや若い人、特に女性は当面避難し、自分たちがここで農業が安心してできるようにしたら、戻って来てほしいということでした。

線量の高い二本松市の農家の場合

初日に訪問した二本松市の大内さんは、40年ほど前に地域で最初に有機農業を始め、「農薬も化学肥料も一切使わない、安全でおいしい」作物を全量直販で売ってきた農家です。事故以降もご夫婦と息子さんが残って農業を継続しています。二本松市は事故があった年の秋の土の線量が3500ベクレムもあり、今でも1500ベクレムあるとのことでした。そんなところで農業を営んで行くための努力は並大抵のことではありません。「放射能におびえてはいけませんが、自分が食べられない作物を売ることはできない」と放射能を吸収しない大豆の開発を東京農工大と提携して行っていました。大豆は土からの放射能の移行率が高いそうですが、約200種の種を植えて、その移行率を測定し、放射能の移行率の低い種を開発しようということでした。さらに、作物の種類による放射能移行率の違いについても調査を行っており、トマト、キュウリ、ナス、ニンジンなどはほとんど吸収しないということがわかったとのことでした。また、カリウムの多い肥料を使う、ゼオライトを通した用水を使うなどでセシウムの吸収を減らすこともしていました。もし作った野菜が汚染されていた場合は、土壌の放射能を吸収してくれたと割り切って廃棄しているとのことでした。ただ、廃棄物の最終処分の見通しができていないので、廃棄物は当面野積みしておくしかないとのことでした。

「事故後は40年もおつきあいのあった販売先の6割からキャンセルされました。今は、大分落ち着いてきてかつてのお客さんも戻ってきていますが、以前のようにはまだまだならないですね」

福島県産米の安全をアピールするため、二本松市は米の全量検査を行い、一部でも基準値を超えたらその地域の全量を出荷停止にしているとのことでした。しかし、これでは廃棄量が膨大になるため、これからはロットごとの検査にし、放射能が基準値を超えた米が少しでも出た場合は、そのロット全部を廃棄するような形に変えるそうです。

「事故以前のような安全でおいしい米や野菜をまた作っていきたいと思っています。サンプル検査しかしていない他県の米に比較したら、二本松の米は安全だと言えます。地域には、もう安全な作物はできないと農業をやめ、被曝を恐れて避難した方もたくさんいますが、17代わたって農業をしてきたこの地を離れるわけにはい

かない、他へ行ってもここで時間と労力をかけて築いたことと同じことができるとは思えない、何とか残って大地と農の再生を図っていきたくと思っています。今年も米を作ります」と力強くおっしゃっていました。そして、有機農業の畑を案内していただき、たわわに実ったレタス、カブなどを一緒に収穫しました。「そこは10ベクレム、ここは、15ベクレムだよ。それで良かったらどうぞ持って行って」と言われ、たくさんの野菜いただいて帰りました。



二本松市の農家大内さん



大内さんの心意気を収穫する

る

風評被害を乗り越えて

翌日の訪問先である南会津郡南会津町は、私が17年ほど前に始めた農場があるところで、周囲を高い山に囲まれているため、環境放射線量は毎時0.06シーグラムと福島県では最も低いところでした。今回訪問したのは、私が10年以上交流してきた農家です。30年前、東京から移り住んで、「福島県一うまい米を作る」を合い言葉に「菜の花米」というネーミングで減農薬米をご夫婦で作ってきた大塚さんは、合い言葉の通り、県の食味検査でどうとう一位を取ったほど優良な米を作ってきたのですが、原発事故で、販売先の9割からキャンセルや返品されたとのことでした。そのため、土壌、水、肥料や関連資材を全部検査して、国の基準値ではなく、放射能が検出せず（ND）のもののみを使う、取れた作物も必ず検査し、安全を確認したもののみを出荷する。毎週数回の検査をしているとのことでした。今はこうした農家の姿勢を理解してかなりの販売先が戻ってきているとのことでした。数値が信じられないという人もいることについては、「では、何を基準に安全かそうでないかを決めるのですか。福島県は全部だめとでも言うのでしょうか。他の地域の野菜が安全だという根拠はあるのでしょうか」ともっと農家を信じてほしい、福島県の農家と農業と一緒に守ってほしいともおっしゃいました。ともかく、創意と熱意で何としても地域の農業を守り、農で生きていきたいという強烈な思いをいただいて東京へ戻りました。



田の代掻きをする大塚さん

私たちにできること

避難する人と残る人の間に深刻な確執があるというのも事実です。事故前の農業や生活、そして地域の絆を再生するには長い年月と互いの努力、そして何よりも行政や国、そして多くの人々の助けが必要です。そのためにも、私たちにも何かできないか、考えさせられました。東電に対する賠償請求や行政に対するさまざまな請求など、二本松の方も南会津郡の方も農協を通さずに独自の販売先を開拓してきたこともあり、個々に賠償請求を行うことになるため、なかなか手続きが進まないようです。

農業に対する事故による直接的な出荷制限、作付け制限への補償は当然ですが、風評被害による販売先からのキャンセル、売れる見込みがないためにやむなく行う生産調整などの被害も「事故と相当因果関係のある被害」として補償される必要があります。さらには、精神的な被害も対象にすべきだと思います。手続きの煩雑さや孤立感から請求を諦める農家も多くあります。こうした農家に寄り添い、農業と生活の再生のお手伝いできればと思っています。

蛇足かもしれませんが、私の農場のある南会津町は、先月、「昨年3月11日現在、町に生活の根拠を持っていた者」に一律4万円の賠償金を支払うことを決め、子どもや妊婦には一律20万円を支払うとのことでした。私はこれには疑問があります。全住民に被害が想定されるのであれば、この金額では少なすぎます。被害が想定されないのに支払うのは単なるばらまきで、何のために支払うのか根拠がありません。福島県民全体を被害者と見なすというなら、茨城県、栃木県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県など首都圏はもちろん、震災瓦礫を放射線汚染物質として処理が難航している岩手、宮城、青森なども補償されるべきです。救済されるべき人々が、未だに救済されていない現状を考えるならば、お金が最も必要とされるどころから使われる方が良く、とりあえず被害が想定されていないところは、健康状態の定期的検査や出荷物の徹底検査などにまず使うべきだと強く思います。

平成24年7月30日

新居崎 邦明（記者No.100105）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年08月01日

エネルギーダイエット（第8回）東京電力の料金値上げ決定 どうする我が家？

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年08月03日

第5回の記事で、東京電力の申請中の値上げ影響について分析しました。ご承知のように7月25日の新聞などで、「9月からの家庭向け電気料金平均8.46%値上げ決定」と報道され、東京電力もホームページで値上げ後の料金詳細をプレスリリースの形で発表しました。

このなかで解説されている料金単価は、値上げ率試算の目的で、平成24年1～3月の貿易統計実績に基づく燃料費調整分0.55円/kWhを加算して表記してあるので、紛らわしくなっています。それを除いた単純な料金比較一覧表を示しますと、以下のとおりになります。

■従量電灯B（税込み）				
		現行単価（円）	値上げ後単価（円）	値上率
第1段階料金	最初の120kWhまで	17.87	18.34	2.6%
第2段階料金	120kWh超、300kWhまで	22.86	24.64	7.8%
第3段階料金	300kWh超	24.13	28.55	18.3%

■ナイト8（税込み）				
		現行単価（円）	値上げ後単価（円）	値上率
昼間第1段階料金	毎日午前7時から午後11時まで 最初の90kWhまで	21.87	22.60	3.3%
昼間第2段階料金	毎日午前7時から午後11時まで 90kWh超、230kWhまで	28.07	30.32	8.0%
昼間第3段階料金	毎日午前7時から午後11時まで 230kWh超	29.64	35.11	18.5%
夜間料金	毎日午後11時から翌朝の午前7時まで	9.17	11.27	22.9%

■ナイト10（税込み）				
		現行単価（円）	値上げ後単価（円）	値上率
昼間第1段階料金	毎日午前8時から午後10時まで 最初の80kWhまで	23.87	24.65	3.3%
昼間第2段階料金	毎日午前8時から午後10時まで 80kWh超、200kWhまで	30.74	33.05	7.5%
昼間第3段階料金	毎日午前8時から午後10時まで 200kWh超	32.48	38.26	17.8%
夜間料金	毎日午後10時から翌朝の午前8時まで	9.48	11.51	21.4%

■電化上手（税込み）				
		現行単価（円）	値上げ後単価（円）	値上率
昼間夏期	毎年7月1日から9月30日 毎日午前10時から午後5時まで	33.37	37.01	10.9%
昼間その他季	毎年10月1日から翌年の6月30日 毎日午前10時から午後5時まで	28.28	30.22	6.9%
朝晩時間	毎日午前7時から午前10時までと 毎日午後5時から午後11時まで	23.13	24.65	6.6%
夜間時間	毎日午後11時から翌朝の午前7時まで	9.17	11.27	22.9%

■ピークシフトプラン（税込み）（平成24年6月1日実施）				
		現行単価（円）	値上げ後単価（円）	値上率
ピーク時間	夏季：毎年7月1日から9月30日の 毎日午後1時から午後4時まで	44.60	52.61	18.0%
昼間時間	ピーク時間を除く毎日午前7時から 午後11時まで	26.53	27.63	4.1%
夜間時間	毎日午後11時から翌朝の午前7時まで	9.17	11.27	22.9%

（画像をクリックすると拡大します）

5月の申請時の傾向と変わっていませんが、各料金メニューのうち、第3段階料金、夜間料金の値上げ率が相対的に高くなり決定されました。夜間の電力供給の主力が原子力から火力発電に切り替わっていることが反映されたものと思われます。9月の利用分からは、特に第3段階料金ゾーンになるべく入らないように節電することが値上げ対策に効いてきます。また従来、割安だった夜間料金は値上げ率で見ると大きく引き上げられました。しかし、やはり夜間料金が昼間の料金よりは割安

で魅力的な点は変わりません。自分や家族の生活リズムを考え、この夜間料金の時間帯に家事をしたり、タイマー利用することによって電力消費をずらすことができないか検討することは、ますます大切になってきました。

電気料金の負担が増えるという話題では、もうひとつ大事なことがあります。この9月の料金値上げに先立って、来月8月分の電気料金から従来の「太陽光発電促進付加金」に追加で「再生可能エネルギー賦課金」全国一律0.22円/kWhが課されることになっています。燃料等調整費もずっと高騰してきていますから、家計には痛い話ばかりです。

(太陽光発電促進付加金は、2015年4月頃から「再生可能エネルギー賦課金」に統合一本化される予定です)

とりあえず、今後の電気料金対策のための情報は出そろいました。それに基づいて第5回の記事で示していた図表を改訂したものを以下に掲載します。

表1 従量電灯Bの月額料金計算方法

■2012年9月からの新料金体系(税込み)

契約容量	30A			
使用量(kWh)	290			
		単価(円)	数量(kWh)	料金(円)
基本料金		819.00		819.00
第1段階料金	最初の120kWhまで	18.34	120	2,200.80
第2段階料金	120kWh超、300kWhまで	24.64	170	4,188.80
第3段階料金	300kWh超	28.55	0	0.00
燃料費等調整費	平成24年1~3月の貿易統計実績に基づく参考値	0.55	290	159.50
再生可能エネルギー賦課金	平成24年度料金(小数点以下切り捨て)	0.22	290	63.00
太陽光発電促進付加金	平成24年度料金(小数点以下切り捨て)	0.06	290	17.00
合計(小数点以下切り捨て)				7,448.00

黄色が値上げ、追加等変更になった部分、基本料金表は変更なし。

基本(円)料金表	10A	273.00
	15A	409.50
	20A	546.00
	30A	819.00
	40A	1,092.00
	50A	1,365.00
	60A	1,638.00

値上がり額
422.00
+6%

■参考：現行料金(2012年7月まで 税込み)

契約容量	30A			
使用量(kWh)	290			
		単価(円)	数量(kWh)	料金(円)
基本料金		819.00		819.00
第1段階料金	最初の120kWhまで	17.87	120	2,144.40
第2段階料金	120kWh超、300kWhまで	22.86	170	3,886.20
第3段階料金	300kWh超	24.13	0	0.00
燃料費等調整費	平成24年1~3月の貿易統計実績に基づく参考値	0.55	290	159.50
太陽光発電促進付加金	平成24年度料金(小数点以下切り捨て)	0.06	290	17.00
合計(小数点以下切り捨て)				7,026.00

(画像をクリックすると拡大します)

表2 従量電灯Bの料金とほぼ同等になる他料金メニューの使用量条件(2012年9月からの新料金体系で計算)

Aさん(30A、290kWh/月)の場合

■従量電灯B

契約容量(A)	30
使用量(kWh)	100.0% 290
月額料金(税込み)	¥7,448

■ナイト8

契約容量(kVA)	3
使用量(kWh)	昼間(16時間) 50.0% 145
	夜間(8時間) 50.0% 145
	合計 100.0% 290
月額料金(税込み)	¥7,450

■ナイト10

契約容量(kVA)	3
使用量(kWh)	昼間(14時間) 52.4% 152
	夜間(10時間) 47.6% 138
	合計 100.0% 290
月額料金(税込み)	¥7,439

■電化上手

契約容量(kVA)	3
使用量(kWh)	昼間夏期(7時間) 20.7% 60
	昼間その他季(7時間) 0.0%
	朝晩時間(9時間) 29.3% 85
	夜間時間(8時間) 50.0% 145
	合計 100.0% 290
月額料金(税込み)	¥7,449

■ピークシフトプラン(平成24年6月1日実施)

契約容量(kVA)	3
使用量(kWh)	ピーク時間(3時間) 6.9% 20
	昼間時間(13または16時間) 41.4% 120
	夜間時間(8時間) 48.3% 140
	合計 100.0% 290
月額料金(税込み)	¥7,445

Bさん(40A、400kWh/月)の場合

■従量電灯B

契約容量(A)	40
使用量(kWh)	100.0% 400
月額料金(税込み)	¥10,915

■ナイト8

契約容量(kVA)	4
使用量(kWh)	昼間(16時間) 63.3% 253
	夜間(8時間) 36.8% 147
	合計 100.0% 400
月額料金(税込み)	¥10,925

■ナイト10

契約容量(kVA)	4
使用量(kWh)	昼間(14時間) 60.0% 240
	夜間(10時間) 40.0% 160
	合計 100.0% 400
月額料金(税込み)	¥10,902

■電化上手

契約容量(kVA)	4
使用量(kWh)	昼間夏期(7時間) 27.3% 109
	昼間その他季(7時間) 0.0%
	朝晩時間(9時間) 37.5% 150
	夜間時間(8時間) 35.3% 141
	合計 100.0% 400
月額料金(税込み)	¥10,912

■ピークシフトプラン(平成24年6月1日実施)

契約容量(kVA)	4
使用量(kWh)	ピーク時間(3時間) 7.5% 30
	昼間時間(13または16時間) 64.5% 218
	夜間時間(8時間) 38.0% 152
	合計 100.0% 400
月額料金(税込み)	¥10,906

(画像をクリックすると拡大します)

節電対策とともに料金メニューやアンペア契約を含めてもう一度ちゃんと見直し

たいという方は、上掲の図表とともに、

[第5回](#)

[第6回](#)

をご再読ください。「アンペアダウン」と「料金メニュー変更+電気機器利用時間の変更」の合わせ技で、月500円くらい浮かせることは十分可能で、値上げ分の吸収に大いに役立ちます。

それから、第5回に述べた「「ナイト10」については、料金改定になったら、その時点から新規受付はしないと表明されています。」という点は、消費者の選択の幅を狭めないようにという理由で最終的に撤回されています。

私自身は、料金値上げの最終情報を見て、「ナイト10 4kVA」の契約変更はせず、節電の総量カットを継続対応していくこととしました。現在昼間のピーク時間帯は太陽光発電のため、ほとんど東京電力から電気を購入していませんから、ピーク時節電協力はできています。それから一昨日、7月の電気ご使用量のお知らせがきましたが、昨年同月274kWhに対して、今年は169kWh。率にして39.4%の節電ができました。昨年も対前年で12%節電できていたのですが、さらに大幅な節電ができたようです。昨年と異なる点は、期間中は昨年ほど暑くなかったこと、扇風機を多用したこと、エアコンを2台取り替えたこと等で、これらが奏功した主な要因だと思っています。いまさらながら扇風機の威力を実感しています。

以上

この記事の情報は、2012年8月1日現在の各出典元の情報や報道によっています。

また、企画の性格上、東京電力管内の情報を主にご紹介しております。他地域の方は、それぞれの電力会社のホームページなどで情報をご参照ください。

平成24年8月1日

林 彰一（記者NO.120101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年08月03日

「花交差点の仲間たち（環境整備ボランティア）」活動報告

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年08月06日

平成24年7月7日（土）9:00～11:00、大森海岸マンション協議会のボランティアメンバー37名が、小雨降る中で歩道橋の清掃活動を行いました。

大森海岸駅前是人通りが多いせいか階段の汚れがひどく、水を流しながらタワシでゴシゴシ擦ってやっと積もった汚れが落ちる様な状態でした。小雨の中での作業はたいへんでしたが、「ありがとう！」と声をかけてくださる方もいて、きれいになった歩道橋を眺め達成感を味わいました。

参加されたボランティアの皆さんお疲れ様でした。今後も定例で歩道橋の清掃活動は継続していきます。

歩道橋を利用される方々一人ひとりが気を付けることで、気持ちの良い歩道橋になります。



2丁目マンション側

大森海岸駅前

清掃前＜大森海岸駅改札前階段＞

＞清掃後

平成24年7月12日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年08月06日

「花交差点の仲間たち」花ロード祭り

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年08月06日

6月24日(日)「花交差点の仲間たち」でラベンダークラフトづくりと「七夕飾り」を楽しみました。

ラベンダークラフトづくりは今年で8年目、数年前に作ったラベンダースティックの香りがまだ残っています。ラベンダーの香りには精神を和らげる効果があるとか。自然をバックに咲くラベンダーを思い浮かべながら楽しむ香りは、心身をリラックスさせてくれます。

七夕飾りは、7月7日まで設置、外部の子供たちや来訪者も参加した。短冊は200枚あまり、子供たちの願いことは夢いっぱい微笑ましく、嬉しくなります。



平成24年7月12日

真壁美枝子 (記者NO.080103)

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年08月06日

コンクリート製土床完成と土床からアブラゼミの幼虫発見

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年09月06日

平塚二丁目町会の京陽公園の一角にある土床が4年を経過し、木製からコンクリート製に生まれ変わりました。

その取り換え工事中に、土の中からアブラゼミの幼虫が出てきました。

公園で遊んでいた子どもたちの手に乗って、大きな目玉を更に大きくしていました・・・子どもたちの目も。

土床は、家庭で出る生ゴミを町会会館にある乾燥機に入れ、粉状に乾燥させ、咲き終わったプランターの硬くなった土と混ぜ、数か月間熟成して栄養豊富な土に再生し、200個のエコプランターに戻され、町会会員の玄関先で咲き競っています。

希望者には再生土を配布しています。

土床は平塚二丁目町会が進めている「花いっぱい運動」を下支えしているとのことでした。

なお、攪拌作業を含めた土床管理は、有志のファーマーズ7名と町会組織「花と緑の部」部員3名で行っているとのことでした。

メンバーは共通のジャンパーを着用し、街の中のプランターの手入れをしているので、通行中の方からよく声を掛けられます。花の名前や宇宙トマト・宇宙アサガオの成長の話題、大葉摘み取りの話題など、この活動も5年目に入り、話しかけてくる常連さんも増えています。



平成24年8月17日

志賀 勝（記者NO.060110）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年09月06日

八ヶ岳で自然を満喫（日帰りバスツアー）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年09月21日

9月9日（日）‘花交差点の仲間たち’38名参加のバスツアーを行いました。

「涼しいところで美味しいものを食べよう！」と計画したが、
＝美し森天然クーラーと八ヶ岳で地中海トマトとサラダほうれん草狩り！＝
気軽な日帰りでマンション前までの送迎付きなので、高齢者や障がい者（車イス）
の参加もありました。

マンション前（8時出発）→美し森ファーム八ヶ岳中信高原国定公園を自由散策！
→八ヶ岳チーズケーキ工房で昼食(メニュー：八ヶ岳高原野菜の蒸し焼き御膳)
→地中海トマト狩り、サラダほうれん草狩り→マンション前到着(20時到着)
八ヶ岳高原は涼しく、自由散策を楽しむことができました。

行程に入っていなかったのですが、農家さんの厚意でオクラつめ放題200円に大満足！珍しい赤いオクラは背丈が2mにもなります。大きく育ったものでも柔らかく美味しかったです。

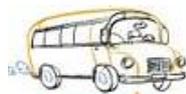
まさに「天然クーラー」の中で、しばし東京の暑さを忘れ、新鮮な空気と新鮮野菜に出会えた旅でした。

バスに乗っている時間が長かったので、参加者の中にはちょっとお疲れの方もいました。

次回はもっと近場で計画したいと考えています。

花交差点の仲間たち ハヶ岳バスツアー

9月9日(日) 参加者:38名



8時出発～



ハヶ岳中信高原国定公園を自由散策!



昼食: ハヶ岳高原野菜の蒸し焼き御膳



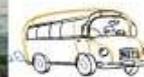
地中海トマト狩り



珍しい赤いオクラと
餅いかぼちゃ!



サラダホウレン草狩り



～20時
無事到着

* 美し森天然クーラーで東京の暑さをしばし忘れ、新鮮野菜に出会えた旅でした!

平成24年9月18日

真壁美枝子 (記者No.080103)

カテゴリ: 平成24年度

投稿日: 2012年09月21日

秋、会社花壇にて幼虫とカエル

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年10月04日

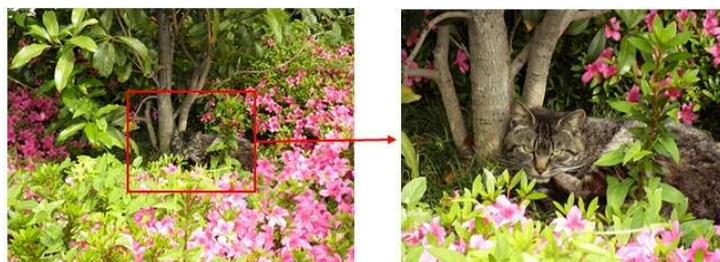
平成24年10月2日（火）午後3時30分

おそらく弊社花壇で今年最後のナミアゲハの幼虫になると思います。

無事、成虫になってくれればな……。ゆずの木にいるところを撮影しました。



同じ花壇で、檸檬の木にニホンアマガエルが1匹。葉の上で静かにしていました。わかりますか？



皮膚は普通は明るい緑色をしています。こちらはうすい水色でした。色素が欠乏してこんな色になることがあるそうです。



街中で生きものの営みを見ることができました。

平成24年10月2日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成24年度

投稿日 : 2012年10月04日

エネルギー・ダイエット（第9回）この夏の節電レビューと冬の対策（しながわネガワット発電所試運転結果）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年10月24日

<この夏の節電レビュー>

第8回より時間が開きましたが、季節はいつしか暑かった夏を過ぎ、キンモクセイの香りが漂う秋に移り変わりました。このエネルギーダイエットシリーズの記事でも、たくさん話題を取り上げてきましたが、今回はこの夏の節電を振り返ってみたいと思います。

まず最初に取り上げるべきなのは、今年の夏は猛暑だったということです。盛夏を過ぎて9月になっても気温が下がりませんでした。東京都心では、8月の平均気温は過去3番目に高く、9月は1999年と並んで史上最高で、平年より2.4度も高かったと報道されました。総じて、暑かったと記憶している一昨年2010年の夏よりもさらに強い猛暑だったわけです。

これは、節電運動には大変な逆風が吹いたと言えるでしょう。一番分かりやすい「昨年より電力消費量を減らしてみよう」というような目標設定は、全くもって簡単ではなかったはず。設定温度28度のエアコンでは涼しく感じられず、連日の熱帯夜で寝苦しく、エアコンが長時間稼働していた家庭も多かったのではないのでしょうか。

しかし、東京電力管内では、今夏の電力最大需要は8月30日（14～15時 気温35.6度）の5,078万キロワット（図表1参照）。今夏は、関西地区などと違って東電管内では節電目標は設定されなかったにも関わらず、さらに上述の猛暑であったにも関わらず、一昨年より18%も減ったとのこと。家庭も、オフィスも、産業でもピークカットに成功し、節電が十分浸透する世の中になったと言えるでしょう。昨年は、産業界には電力使用制限令が発せられ、土日の休日代替勤務や生産活動の時間調整などに相当な負担感が漂っていましたが、今年は発令もなく、節電数値目標もなく、そうした騒動はほとんど聞きませんでした。

今夏の各電力会社管内における需給状況(最大需要日)

電力会社	節電目標	最大需要日 (時間帯)	気温(°C)	最大需要 (万kW)	ピーク供給力 (万kW)	予備率
北海道電力	▲7%以上	9月18日(火) (18～19時)	30.5	483	512	6.0%
東北電力	数値目標を 伴わない節電	8月22日(水) (14～15時)	34.8	1,364	1,468	7.8%
東京電力	数値目標を 伴わない節電	8月30日(木) (14～15時)	35.0	5,078	5,453	7.4%
中部電力	数値目標を 伴わない節電	7月27日(金) (14～15時)	36.6	2,478	2,662	7.4%
関西電力	▲10%以上 生産活動に支障が生じる場 合▲9%以上	8月3日(金) (15～16時)	36.4	2,682	2,992	11.6%
北陸電力	数値目標を 伴わない節電	8月22日(水) (14～15時)	35.9	526	576	9.4%
中国電力	数値目標を 伴わない節電	8月3日(金) (14～15時)	35.0	1,085	1,198	10.4%
四国電力	▲5%以上	8月7日(火) (13～14時)	35.5	526	603	14.6%
九州電力	▲10%以上	7月26日(木) (14～15時)	33.5	1,521	1,626	6.9%

※2012年10月2日時点

第7回需給検証委員会（平成24年10月12日）「資料3-1-1 今夏の電力需給対策のフォローアップについて」より

（画像をクリックすると拡大します）

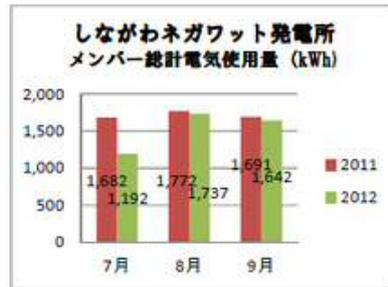
世の中の大勢のお話はさておき、ぐっと家庭レベルの身近な節電の話題に移りましょう。

5月に思いついて、第7回の記事でも呼びかけさせていただいた「しながわネガ

ワット発電所試運転プロジェクト」のご報告をしたいと思います。

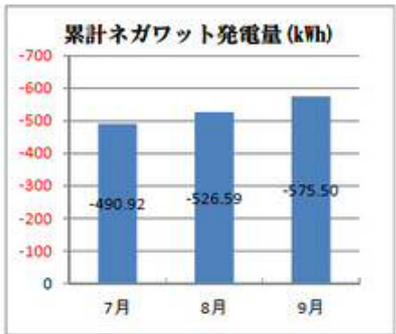
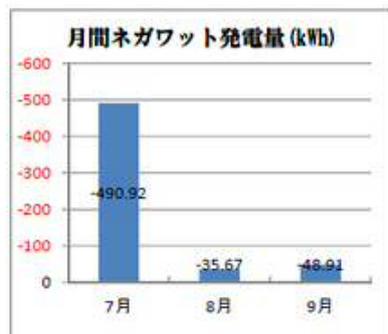
7月から始めるには準備不足だったこともありましたが、この環境記者活動で品川区周辺を中心にした呼びかけでしたので、正直なところ全く参加者が見つからないことも覚悟していたのですが、結果的に我が家を入れて、5家族でこの試運転プロジェクトを無事3ヶ月やり遂げることができました。本当に小さな草の根の試みでしたが、とても大きな教訓を得ることができました。この場をお借りしてご参加のご家族の皆様へお礼申し上げます。

しながわネガワット発電所メンバー総計



	2011	2012	2012/2011対比
7月	1,682	1,192	-491 -29.2%
8月	1,772	1,737	-36 -2.0%
9月	1,691	1,642	-49 -2.9%
合計	5,146	4,571	-575 -11.2%
月平均	1,715	1,524	-192 -11.2%

	2011	2012	2012/2011対比
7月	1,682	1,192	-491 -29.2%
8月	3,455	2,928	-527 -15.2%
9月	5,146	4,571	-575 -11.2%



(画像をクリックすると拡大します)

上の図表2が、「しながわネガワット発電所」試運転のまとめです。

3ヶ月間のネガワット総発電量は、で575.5kWh (=5家族総計の節電量) でした。昨年の同期間の電力使用総量は5,146kWhでしたので、そこから11.2%分の電力量を減らして生み出した電気です。よくグラフを観察すると、7月は後半から猛暑になったことから、最初の月にスタートダッシュでき、これが大きく貢献したことが読み取れます。しかし、強烈な猛暑だった8月、9月に電気使用量が増えずに、ちゃんと減らせていることも重要な要因です。

拙宅の屋根には3年前に4.05kWの太陽光発電システムを取り付けました。これまでの実績として月平均280kWhほど発電していますが、この「しながわネガワット発電所」は3ヶ月でその約2ヶ月分を生み出してくれた計算になります。

ほんのちょっとでも発電や節電に関わると、普段何気なく使う“1kWh”の電力量がどれ程貴重なものかが実感できます。太陽光発電なら、百万円単位の自己資金、補助金申請の手続き、場合によっては屋根の改修、業者やメーカーの選定、系統連携の手続きと設置工事など、それなりにお金と手間暇がかかるものです。それらをやってようやく発電ができますが、悪天候の日にはほとんど発電できません。私も“1kWh”のありがたみが骨身にしみていますので、史上最強の猛暑のなか、新規投資することもなく生活の工夫だけで生み出された575kWhという電力量は、想像以上というか驚くべき成果だと感じます。

試運転プロジェクトをやってみて得られた教訓は、こうした数値をめぐるのではなく、みんなで一緒にやることの意味についてです。

5家族それぞれの日常生活による家庭事情や設備事情は異なります。場合によっては、気をつけていても仕方なく消費量が増える月も出てきます。ずっと以前から節電に積極的に取り組んでいて、もうこれ以上減らす余地が少ないライフスタイル

を確立しているご家庭もいらっしゃいます。「今月はネガワット発電に貢献できなかった」「みんなの足を引っ張った」と思っても、他の家族がそれをカバーして余りある成績を残してくれたりして、スポーツの団体戦と同じようにチームワークが生きてくるのです。これを我が家だけ単独にやっていると、うまくいかない月が続けば挫折しかねません。

みんなでやれば、同じような気候環境のなか他の家族はどんな工夫で乗り切ったのか知恵を知り、まねてみることもできました。例えば、我が家では、mrmhさんのまねをして、日射の強い時間帯に、南西側の使っていない部屋の雨戸を閉め、居室では極力扇風機を使う暮らしをしたら、効果抜群でした。

このようにして成果が出たご褒美は、仲間ができた楽しさと、多く払わなくて済んだ電気料金です。8月からは再生可能エネルギー賦課金（0.22円/kWh）が加わり、9月分から電気料金値上げと地球温暖化対策税（環境税0.05円/kWh）の加算が実施されています。仲間と家計防衛する意義はますます大きくなってきたのではないのでしょうか。

しながわネガワット発電所の企画は、仲間づくりや双方向のコミュニケーションの仕方など、まだまだ課題も残されています。これらを今後整理していきたいと思えます。

さて、「しながわネガワット発電所試運転プロジェクト」を含めた、夏の節電の総括は以上ですが、そうこうしているうちに涼しい日が増えてきました。そろそろ冬のこと考える時節です。

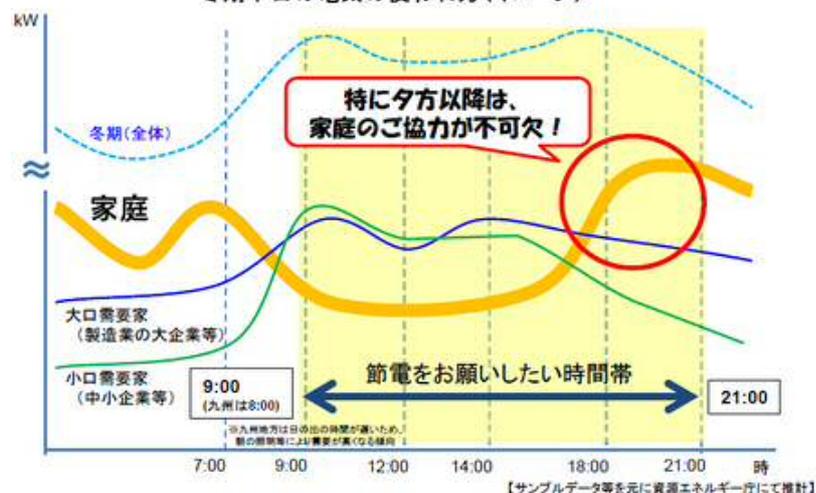
<冬の対策>

全般的な節電プランづくりについては、第3回でご紹介しました。ここでは、特に冬期の電気使用実態にフォーカスして、いくつか節電のポイントをあげていきたいと思えます。

掃除機や洗濯機など年間を通じて変わらない家事用の電気製品の使い方は、同じ工夫で済ませますが、冬の節電ではなんとと言っても、どうやって「暖房・保温に関わる電熱」機器に頼らないでやっていかに尽きます。

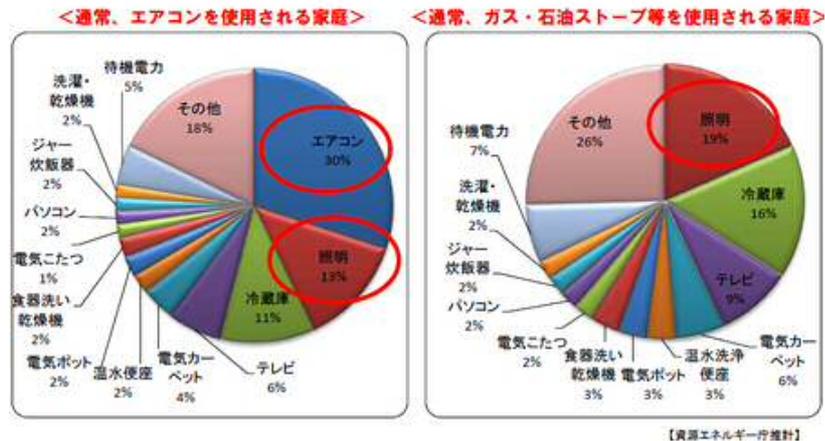
下の図表3をご覧ください。夏の節電では、平日午後2時あたりのピークカットへの協力要請が言われていましたが、冬は外出先から帰宅して夕食を取ったりする18:00から21:00あたりが家庭の電気需要のピークの様です。帰宅後、冷えた部屋を暖めたり、照明をつけ、調理したり、家事が集中するからでしょう。一般論でいえば、この時間帯の電力消費の無駄をどうなくすかがポイントとなります。

冬期平日の電気の使われ方(イメージ)



エネルギー・環境会議／電力需給に関する検討会合の合同会合（平成23年11月1日）（参考資料2）「冬期の節電メニュー（家庭向け）」より
（画像をクリックすると拡大します）

家庭における冬の夕方(19時頃)の消費電力(例)



エネルギー・環境会議／電力需給に関する検討会合の合同会合（平成23年11月1日）（参考資料2）「冬期の節電メニュー（家庭向け）」より
（画像をクリックすると拡大します）

図表4では、暖房にエアコンを使用する家庭と、ガス・石油ストーブを使用する家庭では、消費電力の内訳が違っていることが示されています。北海道・東北などの寒冷地では、電気以外の暖房器具を使う家庭の比率が高いですが、関東では電気（エアコン）の使用率が高くなっていますので、ここでは左側の円グラフを主に見ますと、エアコン使用による電力消費は30%も占めています。

この点における重点対策は、主に以下の3つです。

1. 暖まりやすく熱が逃げにくい部屋にし、暖房機器を長時間使わなくて済むようにする

2. 重ね着をするなどで、体感温度を上げる

3. 暖まる食べ物・飲み物、入浴などの効果で体温を上げる

1については、省エネルギー住宅を目指す対策そのものです。昼間の日射熱をうまく取り入れつつ、壁、窓、床、天井の断熱対策、窓・ドアなどの開口部の漏気防止、気密対策を取ることです。抜本的に行うならば本格的なリフォームになりますので、これには相応な資金が必要になります。最弱点を見つけ、低予算で部分的な対策をするだけでも効果がでると思います。

2については、ほとんどお金がかからずにできることです。薄手のシャツ+ズボンの組み合わせをTシャツ+スウェット上下に変えると1.5～2.3度、フリース上下にすると2.2度、靴下で0.6度、スリッパで0.6度ほど、体感温度を上昇させる効果があるそうです。

3については、昔から日本人ならやってきたことなので、特に言うまでもないでしょう。

夏の節電で「エアコンの設定温度は28度」と耳にたこができるほど聞かされましたが、冬の設定温度は20度だそうです。上述の対策を行うことで出来そうな気がしませんか？

そのほか、こちらに分野別に取り上げた30件の優秀事例集がありますので、参考にしてみてください。

・省エネ優秀事例集（一般財団法人 省エネルギーセンター）

以上

この記事の情報は、2012年10月18日現在の各出典元の情報や報道によっています。また、企画の性格上、東京電力管内の情報を主にご紹介しております。他地域の方は、それぞれの電力会社のホームページなどで情報をご参照ください。

平成24年10月22日

林 彰一（記者NO.120101）

シリーズ・「エネルギーダイエット」過去記事

（第1回）さあ、我が家も節電チャレンジ！（2012年05月30日）

（第2回）「電気ご使用量のお知らせ」の情報の読み方、記録方法など 2012年06

月04日)

(第3回) 節電プランづくり 2012年06月08日)

(第4回) 電気料金メニューを理解して値上げ対策！(1) 2012年06月18日)

(第5回) 電気料金メニューを理解して値上げ対策！(2) 2012年06月25日)

(第6回) アンペア・ダウンって何？ (2012年06月29日)

(第7回) 節電活動をご一緒にやりませんか？(2012年07月13日)

(第8回) 東京電力の料金値上げ決定 どうする我が家？(2012年08月03日)

カテゴリ : 平成24年度

投稿日 : 2012年10月24日

10月下旬、ちょっと寒い秋の日

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年10月29日

10月秋深く、朝起きるとちょっと寒いくらいの日です。
真夏にはあまり大きく育たなかった草花が、秋の弱い日差しをいっぱい浴びようとしてか急に茎も葉も大きく伸びた気がします。



10月20日に大井町駅付近の清掃活動をしながらCSR推進協議会の活動として参加してきました。1時間ほど歩きながらの活動でしたが、あまりゴミが落ちていなくてきれいでした。



同じ時に、防犯パレードが行われていました。



この前報告しました、アマガエル。同じ檸檬の木の枝にとまって体の模様を替えていました。



</a

平成24年10月25日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年10月29日

「花交差点の仲間たち」秋の植栽

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月02日

10月28日（日）7棟の住民ボランティアが69名集合、事前準備と参加者の手際よい作業により短時間で無事終えることができました。

気がかりだった空模様は、植栽後に雨が降りだし植えたばかりの花たちには恵みの雨となりました。

昨年より花苗が一割減り、空間が多く感じましたが、パンジー、ビオラ、プリムラなどは来春暖かくなると花株もどんどん大きくなると思います。

来春5月まできれいな花を楽しむには、日常の管理が大切になります。水やりや枯れた花の摘み取り、雑草駆除がかかせません。全花壇できれいな大森海岸花ロードにしたいものです。



平成24年10月31日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成24年度

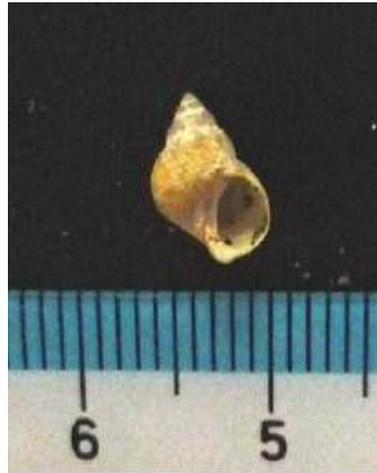
投稿日：2012年11月02日

品川区の運河で見つけた貝が100種類に

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月07日

今年で運河で観察を始めて38年目になりますが、やっと100種類に到達しました。100種類目はマルウズラタマキビ、生息範囲は房総半島以南の貝ですが、私自身、三浦半島、房総半島にかなりの回数行ってはいますがこの地域では未だこの貝を見つけたことは有りません。それ程関東地方では珍しい貝です。そんな貝が運河で見つかりました。



マルウズラタマキビ

それともう1種、紀伊半島以南に生息とされているシゲトウボラが今年見つかりました。

運河では14年前と12年前に見つけていますがいずれも幼貝でした。今回は大人まで成長した貝で12年前に比べて運河の水もはっきりときれいになっている事を感じます。



シゲトウボラ

観察を始めた頃、7種しかいない貝、50種は観察出来ないのではと思う位、水は汚い状態でした。今は、酸欠と豪雨が連続しなければ何とか生き物が生き残る事が出来る所まで回復して来ている感じがしています。

平成24年11月1日

青野良平（記者NO.070103）

カテゴリ: 平成24年度

投稿日: 2012年11月07日

秋の区民公園

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月09日

夏の暑さが嘘のように、秋を通り越して冬の寒さを感じる季節になりました。

区民公園では、これから日々の戦いが始まります・・・「落葉」です。

公園内のキャンプ場はご覧通り大盛況

幼稚園児たちが煙を立て落葉でやきいも作りをしたり、芋煮会などが開かれていて季節感を感じるこの頃です。

またミカン、レモン、ザクロも実を熟しはじめ、少しずつ色合いを増しています。

「実りの秋」を実感します。



ミカン



レモン



ザクロ



ザクロ

平成24年11月5日

丸山 均（記者NO. 090105）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月09日

電力「見える化」は節電の第一歩

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月12日

電化製品の消費電力を確認して記録できる装置が普及してきました。

11月8日の日経産業新聞に特集がありましたので記事の一部をご紹介します。コンセントに差し込み、電気機器をつなぐだけで使える手軽な「見える化」製品が販売されています。

「見える化」により一層節電への意識が高まるのだと思います。

【F-PLUG115（富士通ビー・エス・シー）】

専用ソフトを利用することで電力消費量のほか、電気料金を時間帯別や日付別のグラフで表示したり、前月や前年のデータと比較したりでき、電気機器の種類をあらかじめ登録することによって、電気の使い過ぎていないか簡単に確かめられ、節電のアドバイスもしてくれるという製品

【エコキーパーEC-04EB（朝日電気）】

装置本体の液晶画面で電気機器の使用時間や電気料金を見ることができるというもので、こたつや電気ストーブのつけっぱなしを止めるなど電気の使いすぎを防げるだけでなく、タイマー機能を使い節約できた電気料金も分かるという製品

【ワットチェッカーTweet（サンワサプライ）】

電気料金などを短文投稿サイト「ツイッター」に自動で投稿するというユニークさ。無線LANを介してインターネットに接続し、2～240分おきにつぶやくというもの

平成24年11月8日

勝山宏則（記者NO.060204）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月12日

「福島から食の安全を学ぶ」イベント開催

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月14日

12月7日（金）に私の所属する東京都行政書士会主催で「福島から食の安全を学ぶ」と題するイベントを行います。私が福島の農業について書いた記事（品川区環境情報活動センターHPにも掲載）がきっかけとなったもので、有楽町駅イトシア前広場を一日借り切って開催します。

放射能禍や風評被害で苦しみながらも「放射能に克つ農の力」を抛り所に、安全な農産物を作っていこうとしている福島県の2軒の有機栽培農家の方々と、こうした農家の方々と一緒に放射能禍を克服しようとしている大学の先生をパネラーとしたパネルディスカッションを中心としたイベントです。イベントでは、福島県の有機農産物の直売、きのこ汁ふるまい（300人分を用意する予定）や郷土芸能、クイズ大会（当たった方100人に新米をプレゼント）などを行います。このイベントをきっかけに消費者の皆さんが食の安全について改めて考えていただき、また、福島県の農業の復興に少しでもお役に立ちたいというものです。

朝10時から夕方6時まで行なっていますので、ご参加ください。なお、きのこ汁やクイズ大会での新米プレゼントは数に限りがありますので、お早めにお出で下さい。



当日のパネラー、大内信一さん（二本松市）と渡部よしのさん（喜多方市）



二本松市の米の全袋検査

大内さんの稲刈り

8月25日から始まった米の全袋検査。検査機器は1台2,000万円。全県で164台が設置された。販売する米だけではなく、自家消費米も検査する。

大内さんは、全袋検査だけではなく、独自の検査も行うことでより安全な米の出荷を追求している。

平成24年11月8日

新居 邦明（記者NO.100105）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月14日

大崎駅開業111周年記念の飾り

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月14日

開業111周年を記念して大崎駅を彩る鶴の飾りをご紹介します。

夢さん橋の山手線一周の車中で折った鶴たちと、カレンダーやポスターを使用した大きな鶴もあります。大崎西口商店街大崎エリアマネジメント、大崎駅周辺町づくり協議会が、草月流 中田先生に依頼、協力してできたものです。駅長、助役さん方も、飾り付けの大きさに驚いていました。竹の高さは4メートル以上あります。5メートルの竹を2.5メートルの高さまで6本に裂いて鶴を飾りました。りんかい線乗り場です。鶴が落ちやすいのが難です。通勤客の癒しになるといいですね。



平成24年11月12日

高塚純江（記者NO.100101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月14日

LED看板実用事例

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月19日

京急 新馬場駅にて 駅ホーム施設の改修され標識看板をLEDが使われている事例をご紹介します。（目視にて確認）



新馬場駅 LED



品川駅 蛍光灯

省エネ効果はもちろん 蛍光灯と見比べても暗い部分と明るい部分がLEDの方はなく、くっきりとキレイに見えます。

最近よくこのような看板を見かける事も多くなりました。

またTVや携帯電話・パソコンなどにも多くLEDが使われており、昨年からは電車の新型車両にもLEDになっています。

小型で軽くて省エネがLEDの特徴ですが このように電球だけでなく身の回りの気づかない所にLEDと接する事が今後多くなります。

家電製品など買い替えがある場合は、LEDは省エネというところだけでなく写真の看板のような仕上がりになり、薄く本体を作ることができますのでご参考になればと思います。

平成24年10月31日

辻本喜律（記者NO. 110101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年11月19日

第19回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2012年12月03日

平成24年11月15日(木)、第19回環境記者情報交換会が開催されました。

第一部は、インタメディア代表の佐山吉孝様からお話を伺いました。メインテーマは「隣町を見て、我がまちを知る」で、第二回の今回は「碑文谷道を目黒不動から円融寺、祐天寺へと歩き、目黒区を見る」というサブテーマでお話をいただきました。



第二部は環境記者の皆さんの活動紹介です。

【中西さん】

地域のゴミ屋敷問題に取り組んでいます。本人にとってはゴミは有価物なので、本人の理解を取り付けてゴミを処理するのは難しく費用負担をどうするかというのも大きな問題になっています。町内会で話し合っって自治体の協力を仰いでいます。

【志賀さん】

町内会で、年に2回品川区から講師を派遣してもらって園芸や街角緑化の講座を開いています。

環境に優しい保育園作りを目指してきましたが、来年6月に中野区に完成する予定です。

【青野さん】

今年で品川区の運河で観察を始めて38年目になり、見つけた貝が100種類に達しました。観察を始めた当初は水が汚かったのですが、今は、酸欠と豪雨が連続しなければ何とか生きものが生き残ることができるところまで回復してきていると感じています。



【丸山さん】

区民公園の管理をしています。落葉の季節を迎え清掃が大変です。公園内のキャンプ場では、落葉を使って幼稚園児たちが焼き芋づくりをしたり、芋煮大会を開いたりしています。ミカン、レモン、ザクロの実が熟し始め「実りの秋」を実感します。

【小野さん】

公園の花植えに助成金を出している会社があります。援助は初年度だけで持続性がなく、その助成金を受けると区からの援助は打ち切りになるので、利用しにくいです。

当社では、9月に事務所ビルの屋上に太陽光パネル84枚を設置しました。自然条件の影響を受けるので太陽光エネルギーの安定供給は難しいと感じています。

【新居 さん】

12月7日に東京都行政書士会主催で「福島から食の安全を学ぶ」と題するイベントを行います。有楽町駅前広場を一日借り切って、パネルディスカッションを中心に、農産物の直売、キノコ汁ぶるまい、クイズ大会などを行い、福島県の復興に少しでもお役に立ちたいというものです。



【辻本さん】

最近LEDが使われている標識看板を見かけることが多くなりました。蛍光灯と見比べても暗い部分と明るい部分がなく、くっきりきれいに見えます。省エネ効果に加えて小型で軽く薄い仕上がりに作れるのも良い点です。電球だけでなく、身のまわりの気付かないところでLEDと接することが今後増えていくでしょう。

【林さん】

7月から3カ月、「しながわネガワット発電所試運転プロジェクト」を5家族で行いました。強烈な猛暑でかつ9月から電気料金が値上がりしたにも関わらず、前年比11.2%の電力量を減らすことができました。

地域で連帯し活動することの大切さを感じています。神奈川県藤野町の森林保全のトランジション運動に参加してみました。また、武蔵小山の環境を考える会の事務局として活動をしています。

【若井田さん】

大井第三地区には7町会があり、定例の美化活動としては年1回ですが、私たち大井6丁目かしま町会では、毎月第三日曜日に20～30人が2班に分かれて1時間半ほど清掃を行っています。



今回は9名の方が出席してくださいました。それぞれのグループ、または個人で積極的に活動していらっしゃる様子を報告していただき、皆様の活動が多岐に渡っていることを改めて実感しました。意見や情報の交換が活発に行われ、実り多い会合となりました。

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2012年12月03日

町会で美化活動を行っています

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年12月04日

毎月第三日曜日、私の住む大井鹿島町会（大井六丁目）で美化活動（清掃）を行っています。

最近ちょっと気になることがあるのですが、それはここ2～3年虫がいなくなったのです。

写真は清掃後のもので、以前は中央に見える白いボールの先の葉っぱが虫に食われていました。葉っぱが食われないというのは私たちにとっては良いことですが、何か気候の変化を感じます。



大井第三地区には7町会があり、定例の美化活動としては年1回ですが、私たちの町会の活動として毎月第三日曜日に20～30人が2班に分かれて1時間半ほど清掃を行っています。今月（11月）も18日（日）に行う予定です。

<18日に行われました（事務局）>

平成24年11月13日

若井田 悦男（記者NO.110201）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年12月04日

五反田綺麗にし隊・！11月25日の活動報告

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年12月04日

元気よく「おはようございます」と声をかけながらの清掃。時々、返ってくる声に励まされながらゴミを拾っていきます。やっぱり煙草の吸殻が目立つように感じました。中身の入った缶やビンも多く発見されました。

しかし、視点を変えるとザクロやミカンが突っていました。大都会の中で、すすくと必死に大きくなっている姿に思わず笑顔になってしまいました。この日、隊員の参加は2名でした。しかし力強い助っ人の皆様が5名も来てくれました！！！！



(集めたゴミを前にニコリ！！お掃除系女子・男子流行るか?)

今年の2月にあった社会貢献活動で知り合ったご縁で、5月と10月の2回、鎌倉に「出張お掃除」に行きまして。そして今回は鎌倉から五反田のお掃除に来ていただきました。皆様、日ごろから清掃のボランティア活動を行っているそうです。～系男子というのが流行っていますが、お掃除系男子……。いかがでしょうか？見返りを求めずに人のために活動することは容易ではありません。清掃の後は、心まで綺麗になった気がします。『五反田綺麗にし隊』も負けてられないと強く感じました。

休みの日にゴミを拾って下さいとまでは言いません。しかし、一人が捨てることで負の連鎖が生まれてしまいます。「捨てない意識・汚さない努力」が浸透して欲しいと思っています。これからも商店会の皆様と共に五反田を綺麗にしていけるよう頑張りたいと思います。

平成24年11月27日

清泉女子大学“五反田綺麗にし隊”並木里紗（記者NO.100103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2012年12月04日

いつもより多く「浮かんで」ました？

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年01月17日

13年1月10日（木）午前8時20分 「てんのうすはし」から撮影しました。



寒さも日々厳しくなっていますがそれに合わせた様にカモ科のキンクロハジロやヒドリガモが今年1月から来ました。（12月末にはいませんでした）

この橋からは、あまりみられない光景です。

こんなにカモがいるのを見たことはありません。環境がよくなったのかな？



平成25年1月11日

小野文義 (記者NO. 090107)



カテゴリ : 平成24年度

投稿日 : 2013年01月17日

「芝坊や」と「花の寄せ植え」

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年01月21日

12月13日（木）、原先生（生活園芸家）の指導の下、「芝坊や」と「寄せ植え」の2つの作品を作り、20人の参加者は、それぞれを抱っこして家に持ち帰りました。



「芝坊や」は靴下で出来ていて、頭の中には丸く固めた熟成土壌と芝の種が入っており、種は主に頭の上（髪の毛に当たる部分）に入れました。胴体はペットボトルで、中には水が入っており、頭の中の芝の種に水分を供給しています。頭のとっぺんから成長した緑の芝が出てくるのが楽しみです。



「寄せ植え」は金網の靴の中の紙シート内に熟成土壌が入っています（靴の先端は詰め物です）。

花はシクラメン、パンジー他で、クリスマスに向かってサンタさんをあしらっています。

「芝坊や」と「寄せ植え」の成長を楽しみながら、家族でクリスマスとお正月を迎えます。

なお熟成土壌は、町会が京葉公園に設置した土壌熟成スペースの中で、生ごみ処理機で処理した生ごみを混ぜて使った土です。



平成24年12月17日

志賀 勝（記者NO.060110）

カテゴリ：平成24年度

投稿日 : 2013年01月21日

二子玉川ライズ・ガリレアの照明

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年01月31日

A L D国際照明デザイナー協会デザイン賞優秀賞を受賞している物件があり、見学してきました。

夕刻の撮影で少し見づらいかも知れませんが レポートさせていただきます。



拠点の地あかり具合



明暗の演出



色が変わる誘導ライン灯



ブリッジ側面の照明で明る

さ感を演出

節電という事で、従来の全体的に明るさをとる手法から、各拠点と各ショップ前に光を集める手法をとり、メリハリをつけ「豊かで美しい暗さ」を演出しているのが大きな特徴です。

その結果、一般的な商業施設の6割程度のエネルギーでまとめられたそうです。従来の「明るければ幸福という感覚」から、震災直後「明るくしている事はよくないという風潮」になった感じもあり、街全体が暗いという時期がありました。施設のある部分では16ルクス程度の明るさのところもあり、「心地良い暗さ」を楽しめ、部分的に光を集める事により、暗くて寂しいという印象はありません。また、昨今は携帯のi-phoneの普及もあり、光る画面を見ている事が多く、例えば本を読む明るさを全体に均一にするという要求は少なくなっているかも知れません。

今回は非常に高いデザインと技術による省エネの施設の紹介でした。

機会がありましたら、一度美しく心地よい空間を楽しんでみられてはいかがでしょうか。

平成25年1月28日

辻本喜律（記者NO. 110101）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年01月31日

「花交差点の仲間たち」活動報告

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月18日

大森海岸駅前歩道橋～しながわ区民公園入口までの歩道花壇の整備と歩道の清掃を行っています。

2月月例は2月3日（日）45名が参加、前日の4月の暖かさから真冬の極寒に戻り、北風が吹く

中での作業となりました。作業を始めたら体がポカポカ、背中汗ばむくらいになります。

歩道橋の清掃に濡れた新聞紙を使うことで、綿ゴミなどが楽に取り除くことができました。



花壇の手入れは雑草駆除と枯れた花の摘み取りです。

昨年秋歩道花壇に植えたマーガレットが、濃いピンクで色鮮やか、可愛く咲いています。

今年は挿し木で増やし、南大井2丁目歩道をマーガレット通りにしたいと思っています。



平成25年2月3日
真壁美枝子（記者No080103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月18日

しながわ区民公園にいる冬の鳥たち

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月18日

2月12日久しぶりに公園内を散歩、立春は過ぎたとはいえ、春の足音はまだ先のようです。

公園の南側にある人口池には数種の鳥（カモ・サギ・カモメなど）が群れています。

カモは越冬して春には北に帰るはずが、一年中この池で過ごす居座りカモもいるようです。



いろんな姿の
カモたち！



カモ数羽が並んでシンクロスイミング、エサを取るしぐさがとても可愛い！



必殺の眼！♪



カゴメの声は赤ちゃんみたいに元気！♪



落葉樹にはこのような鳥たちが休んでいます。♪

平成25年2月12日
真壁美枝子（記者No080103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月18日

一足早く宮崎で春を満喫してきました

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月18日

あちらこちらに春が来たなと感じる風景が見受けられ、東京での春の訪れが待ち遠しい気がします。

近くでは、プロ野球の巨人と広島の春のキャンプが行なわれていました。

南国特有の甘夏ミカン・日向夏ミカンがたわわに実っている風景、木々の緑も少し濃くなっているようでした。



日照の時間も心なしか長く感じられ、日暮れの夕日が川の水、海の水をやわらかく照らしていました。



南宮崎の子供の国公園で「緋寒桜と遊ぶメジロ」です。メジロも春の到来を喜んでいるのでしょうか。



平成25年2月12日

中西義治(記者NO.060108)

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月18日

センリョウとマンリョウ

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月18日

記録的な大雪が降る前日、1月14日に国立科学博物館附属自然教育園に行ってきました。まだまだ寒いですが、天気の良いため親子連れで来ている人もいました。昨年10月に来たときは花や虫がたくさん見つけれられましたが、今回はあまり見かけませんでした。

今回はセンリョウとマンリョウについて紹介します。赤い実がつく植物で、見た目が非常に似ています。その場にいたご家族も何が違うのだろうと言っていました。私もその場では違いがよくわからなかったので、帰ってから調べてみました。

調べてみると見分け方が簡単で、

- ・葉の中で上向きに実がつく→センリョウ
- ・葉の下側に垂れ下がるように実がつく→マンリョウ

です。

もし機会があれば注意して見てみてください。



センリョウ

平成25年2月14日

坂手寛（記者NO.120102）



マンリョウ

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月18日

しながわ区民公園の梅

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年02月26日

寒い日々が続いている今日この頃です。

しながわ区民公園では寒い中、花開こうとしている樹種があります。「梅の花」です。今年は例年になく1か月ほど遅く2月12日現在、14種類、約20本くらいの梅の木が咲いている、または、咲き始めている状況にあります。

ロウ梅、白牡丹、玉牡丹、緋梅（ヒバイ）、月影、淡路などなど、昨年この時期では遅咲きの種類を残して、ほぼ満開から終盤の様子でした。人にとっては雨や雪でいやな時期ではありますが、樹木にとって春への大切な時期になってきたと思います。

現在の梅山の状況です。

↓ロウバイ：終盤の状況です
したところでしょうか



↓緋梅（ヒバイ）：満開を越



↓玉牡丹（タマボタン）：満開です
でしょうか



↓淡路（アワジ）3分咲き



その他(米良・白加賀など) はつぼみから少しずつ開花しています。

↓米良（メラ）



↓白加賀（シラカガ）



↓月影（ツキカゲ）

↓冬至（とうじ）



平成25年2月19日
丸山 均（記者NO. 090105）

カテゴリ：平成24年度
投稿日：2013年02月26日

京浜運河中央公園の二枚貝

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月05日

京浜運河 中央公園にてとても小さな二枚貝を見つけました。貝の大きさ1.7mm以下のとても小さな貝です。



名前をコハギガイと言います。あまりにも小さくて砂浜の砂と一緒に取ったのですが、全く貝の姿は砂に隠れて見えませんでした。この貝、1mm目のふるいも通り抜けてしまいます。元々は多摩川河口に住んでいた貝です。ヤマトシジミとともに中央公園は多摩川河口の環境と良く似た状況になって来ている様です。中央に見られる巻貝はウミゴマツボで運河の中で一番小さい貝でした。

平成25年3月4日

青野良平（記者NO.070103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月05日

五反田綺麗にし隊の活動・昨今

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月07日

こんにちは！五反田綺麗にし隊です！！

私たち五反田綺麗にし隊は、五反田駅周辺や駅前の植え込みやタクシー乗り場のゴミ拾いを定期的に行っています。清掃活動を通して地域交流を図りながら、ゴミを捨てない街づくりを目指しています。綺麗で住みよい五反田の街を地域の方たちと共に作っていきたくと考えています。

今回は2月23日に行われた社会貢献活動しながわに参加してきましたので、そのご報告です。

第五回目を迎えた今回は、過去最多の92（出展72）団体が参加されたようです。昨年は、「心温まる活動賞」を頂きました。今年は、同じ清泉女子大学から「ボランティアセンター」や「絵本ボランティアグループ大空」・「HACS」がノミネートされていました。同じ大学の活動が評価されるのは、嬉しいことです。受賞こそ逃してしまいましたが、みなさん輝いていました。

面白い活動「ふれあいの家—おばちゃんち」、心温まる活動「はる・あき会」、なるほど活動「東芝エレベータ（株）」（敬称略）受賞した3団体の皆様、おめでとうございます。

参加してみて感じたのは、品川区には魅力的な活動を行っている団体がたくさんあるということです。2回目の参加でしたが、昨年のことを覚えていて話しかけて下さった方がいらして大変うれしかったです。ここでの“つながり”を大切に2013年も活動していきたくと思います。よろしく願いいたします。

今回は環境活動をしている他の団体との情報交換もでき、有意義な参加となりました。



（活動紹介写真を前にパチリ！！／右：並木、左：手嶋）

平成25年3月4日

清泉女子大学 五反田綺麗にし隊 並木里紗（記者NO.100103）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月07日

環境学習講座のお手伝いをしました

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月12日

「熱帯の自然と環境を学び、ジャングルジオラマ（模型）を作ろう」と題して、BCT-J（ボルネオ保全トラストジャパン）の池田泰子さんを中心に加藤ゆりかさん（2人とも芸術大学卒）と小野の3名で環境学習講座を進めました。会場は品川区環境情報活動センターです。

池田先生が地球の誕生から生物の誕生をジオラマ製作に関連付けながら丁寧に説明し、ボルネオ島の自然や動物の話までしてくれました。



親子16組（33名）が参加しました。

午前中から環境情報活動センターのスタッフの方と教室の準備をし、講座は午後2時にスタート、子どもたちは夕方の5時近くまで休むことなく熱心に作っていました。

最後の挨拶のあと、参加した皆さんから「楽しかった」と感想をもらい、また皆さんから大きな拍手をいただくなど、やりがいのある一日でした。

平成25年3月11日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月12日

テニスボールの廃物利用で快適授業

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月15日

1/19(土)、1/27(日)両日、大井第一小学校にて、先生がたと保護者と子どもたちが、使用しているイスの脚にテニスボールを装着しました。こうする事によってイスの滑りが良くなり、床面のキズも少なく、床面とすれる音も小さくなります。



テニスボールはテニススクールから使用しなくなったボール約3,500個を頂き、廃物利用をしています。

作業内容は、まずボールをカッターで十字に切り込みを入れます。これがなかなか大変です。多少チカラが要り、コツをつかむまでは大変でした。

そのボールを各教室でこれまで使っていた古いボールを新しいボールに交換・装着していきました。

2日間で4学年分を交換しまし、残りは後日の作業となりました。

平成25年3月11日

若井田 悦男（記者NO.110201）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月15日

冬季電気量節約術

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月15日

震災2年目の昨日（3月11日）の報道は多種にわたっていましたが、心が痛むことが多かったように思います。最終処理も決まらない日本での原発には、基本的に反対の私は震災後節電に努めていました。

我が家の節電は震災後一生懸命実践したのでもう限界と想着っていました。しかし、対策を変えることでまだまだ可能であることがわかりましたので報告致します。

冬の節電1か月18%節減できた理由を述べたいと思います。

「昨年と比べ18%減少しています」と書かれています。

電気使用量のお知らせ	
25年3月分	使用種別 従量電灯B
使用量 171kWh	契約 40A
請求予定金額 4,465円	前月平均電圧 26.30
基本料金 1,092円100銭	前月平均電流 24.59
電力量料金 2,266円80銭	前月平均電圧 26.30
燃料費調整額 -64円98銭	前月平均電流 24.59
内工業発電調整金等 47円	前月平均電圧 26.30
内工業発電調整金等 -106円54銭	前月平均電流 24.59
灯油調整額 -53円100銭	前月平均電圧 26.30
	前月平均電流 24.59

◆ こたつを片付け、ひざ掛けと靴下にしたこと。

時には上着と靴下を1枚増やしました。

◆ 昼間は窓から太陽を多く取り入れて部屋を暖め、夜は各部屋のドアを閉めて小さな空間(部屋)を作りました。

◆ ベッドでの夜間電気毛布を中止し、しまってた羽根布団に変更しました。

◆ とても寒い時は加湿器を2時間タイマーで使用。

(暖房機も2時間タイマーで併用することもある)

◆ パソコンをする時の部屋の電気は、大きな電気ではなくLEDのスタンドのみ使用(従来通り)。

節電しても風邪をひいては困るのでその点は留意しながらの生活でした。

いろいろ試しながら考えて生活するのも面白いと思います。

平成25年3月12日

記者 K (NO. 120104)

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月15日

お花の季節到来です

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月18日

福岡ではソメイヨシノが咲いたと朝のニュースにありましたが、厳しかった冬も終り、いよいよ春、花の時期がやってきました。

東京でも今月末にはこのような満開の桜が観られるのではないのでしょうか。



昨年の品川区立東八ツ山公園稲荷堂の桜です

去年12月19日に植え替えた草花が今満開です。花はシクラメン、葉牡丹、ビオラ、マーガレットなどです。



2012年12月19日植替え当時の様子

2013年3月14日現在の様子

片側3車線の大きな新東海橋交差点の一角にとっても綺麗に咲いており、この地域では目立っています。天王洲アイルの文具店で会計したときに「花のある会社ね」と店主から言われ、結構離れたところでも知られているなど実感しています。花の好きな人はもちろん、玄関前の信号待ちをする人や毎日通勤で通る人など観てくれていると思います。4月には植木などの剪定を予定しています。また新人研修での花植替えも実施予定です。



平成25年3月14日
小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月18日

第20回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2013年03月20日

平成25年3月13日(水)、第20回環境記者情報交換会が開催されました。

第一部は、インタメディア代表の佐山吉孝様からお話を伺いました。メインテーマは「隣町を見て、我がまちを知る」で、第三回の今回は「品川御殿山から鎌倉道を歩いて、港区を見る」というサブテーマでお話をさせていただきました。

【佐山さん】



第二部は環境記者の皆さんの活動紹介です。

【中西さん】



区の防災アドバイザーを務めています。町内会の避難場所を見て回っていると、個人宅で育てている植物が育ち過ぎて一般の方々が通行する道にはみだしていることがあります。身の丈にあったものの選定が必要だと思います。

宮崎を訪れ、地方の過疎化と観光客の減少を目の当たりにしました。予算がないために環境を整備できないということが起こっています。

【青野さん】



今年で品川区の運河で観察を始めて38年目になります。京浜運河中央公園にて1.7mm以下のとても小さな二枚貝を見つけました。名前をコハギガイと言います。運河としては101番目の記録種となります。

港湾局から北埠頭橋の砂浜へ立ち入らないように注意され、観察しにくい状況になっています。観察を続けられよう方策を思案中です。

【新居崎さん】



行政書士会の会報に寄稿した福島県の農業と原発についての記事が、会報寄稿優秀賞を受賞しました。この寄稿をきっかけに、昨年12月7日に東京都行政書士会主催で「福島から食の安全を学ぶ」と題するイベントを行い盛況のうちに終わり、福島の農業の現状を知ってもらう上で意義のある活動となりました。セシウムは野菜に大きな影響を与えていないことが明らかになっており、現在出荷制限されている野菜はほぼありません。

【林さん】



武蔵小山の環境を考える会で活動しています。また、大倉山の市民による太陽光発電のプロジェクトで佐山先生とともにアドバイザーを務めています。ECOだよりに「自然エネルギー探訪記」という記事を4回シリーズで書きました。5月19日に「私にも始められる育エネ、省エネ生活～市民参加型の新しいエネルギー・ライフスタイル～」というタイトルでセンターの講座の講師をさせていただくことになりました。

【五反田綺麗にし隊・並木さん】



私たち「五反田綺麗にし隊」は、月に2回、五反田の街をきれいにしようと五反田駅周辺や駅前の植え込みやタクシー乗り場のゴミ拾いを行っています。2月23日の「社会貢献活動しながわ」に参加し、多くの団体の方と交流することができました。昨年の社会貢献活動で知りあった鎌倉のグループとは交流が続いており、自分たちの活動を考える上で参考になっています。4月には鎌倉での清掃活動に参加する予定です。

【若井田さん】



大井第一小学校でテニスボールを利用したボランティアをしてきました。使用済みのテニスボールに十文字の切り込みを入れて、イスの脚に装着していきました。イスの滑りが良くなり、床面が傷つきにくく、すれる音も小さくなります。テニススクールに声をかけ使用済みのボールを提供してもらいました。

【辻本さん】



非常に高いデザインと技術による省エネの施設を紹介します。二子玉川ライズ・ギャラリーの照明がA L D国際照明デザイナー協会デザイン賞優秀賞を受賞しました。全体的に明るくするのではなく、各拠点と各ショップ前に光を集める手法をとり、メリハリをつけ「豊かで美しい暗さ」を演出しているのが大きな特徴です。その結果、一般的な商業施設の6割程度のエネルギー消費で済んでいるそうです。

今回は7名の方が出席してくださり、それぞれのグループ、または個人で積極的に活動していらっしゃる様子を報告していただきました。佐山さんより「皆さんのそれぞれの活動が永く続いている、そして時を経て質が高くなってきていることが素晴らしい、今後も末永く継続してほしい。」とのお言葉をいただきました。意見や情報の交換が活発に行われ、実り多い会合となりました。

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2013年03月20日

千葉の館山で春の兆し

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月25日

千葉県館山で春の兆しを発見しました。

数少なくなった田圃の際に、つくしが芽を「噴出」していました。

やがて、スギナとなる日を待ち望んでいるように、ちんまりと「つくし三兄弟」と懐けましたが、自然はいいものです。



菜の花畑が黄色い花をたわわに咲き誇って、後ろに見える道の駅の観光客を迎えていました。撮影の際に我が家の愛犬、ラブリーがつくしの前に顔を出して、草の香りを楽しんでいました。



平成25年3月22日

中西義治(記者NO.060108)

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月25日

環境とマスクの効用

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月31日

インフルエンザは下火になっても風疹が流行し、花粉症、PM2.5、黄砂など次から次へと空気の問題が続いている2013年です。

子供、高齢者、呼吸器系の病気の人をはじめとして、今後も人体への影響の少ないベストマスクを手に入れたいのは誰も同じと思います。

店では10種類くらいのマスクが並んでおり、最近では特にPM2.5対応が1,2種類販売され始めましたが、今のところとても高価で、1枚400円くらいしています。花粉症用のゴーグルも店頭で並んでいます。

私の愛用しているマスクは1日切りレギュラータイプ90×175mmで、「風邪・花粉・ハウスダスト」用。3枚500円くらいで売っています。



「日本衛星材料工業連合会自主基準」、'MAID IN CHINA'で製造者名と販売者名は日本企業となっています。

*メガネのくもり99%カットするノーズクッションがついている。鼻の隙間をなくし頬もすっきり覆う。

*次に特殊静電フィルターでウイルスを含む飛沫や花粉、ほこりを強力吸着するという。

*立体構造で口元に空間を作り息苦しさが少ない。

*縦横クロスプリーツを下げると顎まですっぽり覆える。

*素材はポリエチレン系

どうしても外に出なければならぬ時はマスク着用。余り神経質にはなりたくないのですが、濃度が高いと言われている日は窓を開ける時間を少なくし、洗濯物を外に干さないなどの環境を考えています。

空気清浄機も必要になってくる時代に突入するのでしょうか。

もう少し様子を見ながら考えていきたいと思います。

それと「国家検定規格合格」（現在は防じん用）というマスクも探してみたいと思っています。

平成25年3月22日

環境記者 K (NO. 120104)

カテゴリ：平成24年度

投稿日：2013年03月31日